



島根県立大学 松江キャンパス発

令和3年度

地域研究と 教育

vol.
10



教育連携の拡充

令和3年度、松江キャンパスでは県内高校との教育連携に特に力を入れてきました。出雲高校、大田高校、平田高校、松江工業高校、松江商業高校、松江農林高校、松江東高校、松江南高校、三刀屋高校、横田高校、松江市立皆美が丘女子高校、大多和学園開星高校、水谷学園出雲北稜高校、からの依頼を受け、本学教職員は高校生に対し、講義や課題研究の指導・助言を行いました。

また、近隣の教育機関については、中学校、小学校、幼稚園、幼保園における、本学学生による絵本の読み聞かせやボランティア活動、松江商業高校での公開授業見学、図書館交流など、多彩な形で連携交流をはかっています。

しまねの文化を学ぶ 全学共通「しまね文化論」

松江キャンパスでは、平成30年度より、1年生を対象とした「しまね文化論」を開講し、島根県の特色ある文化について、各回のテーマに相応しい専門家をお招きし、ご講義いただいています。

◎ 外部講師一覧

神々の国しまね(1)出雲大社	千家和比古氏(出雲大社権宮司)
神々の国しまね(2)神話	錦田剛志氏(万九千神社宮司)
しまねの日本遺産(たたら製鉄)	井上裕司氏(株式会社田部たたら事業部長)
しまねの世界遺産(石見銀山遺跡とその文化的景観①大森編)	仲野義文氏(石見銀山資料館館長)
しまねの世界遺産(石見銀山遺跡とその文化的景観②温泉津編)	仲野義文氏(石見銀山資料館館長)
しまねの国宝(松江城)	卜部吉博氏(元松江市松江城調査研究室長)
しまねの伝統芸能(神楽)	藤原宏夫氏(島根県古代出雲歴史博物館)
しまねの自然	中村唯史氏(島根県立三瓶自然館)
しまねの地質遺産(隠岐世界ジオパーク)	野邊一寛氏(隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会事務局長)
しまねの食文化(1)松江の茶文化	中村寿男氏(中村茶舗代表取締役)
しまねの食文化(2)次世代への継承	景山直観氏(一文字家社長)
しまねの文化を残し、伝える一発掘調査から展示まで	赤澤秀則氏(鹿島歴史民俗資料館館長)
しまねの文化の継承・活用	高木朋美氏(鉄の歴史村地域文化研究所理事)

しまね地域マイスター制度(人間文化学部)

島根県立大学では、しまね、ならびに、地域の諸課題に関する卒業研究を完成させた学生に対して、本学独自の称号「しまね地域マイスター」を授与します。松江キャンパス人間文化学部では、平成30年度の学部設立と同時に本制度を開始しました。本制度は登録制で、令和3年度入学までの学生を対象に、要件をすべて満たして優秀な成績を修めた者と認めた場合には、マイスター称号を卒業時に授与します。令和4年3月、人間文化学部第一期生の卒業に伴い、17名(保育教育学科5名、地域文化学科12名)が「しまね地域マイスター」として認定されました。

◎ しまね地域マイスター・研究題目一覧

学科	学生氏名	研究題目	指導教員
保育教育	持田 祐里	島根県の柔道教室における子どもの実態に応じた言葉掛けについて—対象の異なる2つの柔道教室の事例から—	西村
保育教育	三浦 あかり	幼少期の家族機能と青年期の愛着スタイルに関する調査	藤原
保育教育	藤原 七香	父親の育児参加と女子大学生の父親に対する気持ちや態度・行動の関連性	藤原
保育教育	岩田 桃可	保育環境における色覚とカラーユニバーサルデザイン—島根県内の保育士・幼稚園教諭における質問紙調査から—	内山
保育教育	板垣 志摩	教職志望学生の不登校経験の有無が不登校児童への支援のあり方に与える影響—島根県の不登校の現状を踏まえて—	山田
地域文化	糸賀 姫華	氏神社の遷宮と地域—松江島根町を事例に—	中野
地域文化	今田 志央梨	島根県における食を活かした地域振興の可能性	工藤
地域文化	岡本 真理弥	高瀬川周辺地域の活性化における観光まちづくりの意義	竹田
地域文化	蔭山 実玲	暮らしのなかの植物利用—松江島根町を事例に—	中野
地域文化	勝部 瑞貴	松江藩の追放刑とその特徴—中国諸藩との比較から—	杉
地域文化	加藤 天音	アニメ聖地巡礼は地域活性化の鍵になるのか	塩谷
地域文化	川西 詩乃	松江の「茶の湯文化」—お茶の産業と文化の振興に向けて—	工藤
地域文化	里田 絵利子	宍道湖の水辺空間の活用について	工藤
地域文化	仙田 琴音	方言教育とその背景にある国語教育について—島根県を例にして—	高橋
地域文化	田中 舞	出雲阿国観光の今と未来	竹田
地域文化	中嶋 朱音	博物館を活かした地域づくり—島根県内の博物館を事例に—	工藤
地域文化	馬場 祐希	「大保恵日記」にみる新屋太助の信仰	杉

客員教授講演会・公開講座「椿の道アカデミー」

令和3年度は、感染症拡大防止のため大幅に規模を縮小し、オンラインで、客員教授講演会と公開講座を実施しました。

○ 客員教授講演会

日時：令和3年12月8日

テーマ：歌と語りの原風景～ラフカディオ・ハーン「夏の日」～

講師：成城大学名誉教授 牧野陽子氏

○ 公開講座「椿の道アカデミー」(オンデマンド動画配信)

時期：令和3年10月配信

テーマ：医療ケアの現状と課題

講師：前林英貴准教授(保育教育学科)

コロナ禍における地域の皆様からの学生支援

アルバイト収入や仕送りが減り、生活が苦しくなった本学学生のためにと、地域の方々(個人・団体・法人の皆様)から、基金への御寄付、お米・野菜・マスクなどの生活物資のご寄贈をいただきました。たくさんのご支援をありがとうございました。教職員一同、心より御礼申し上げます。





乃木小 音楽会練習サポーターの取組



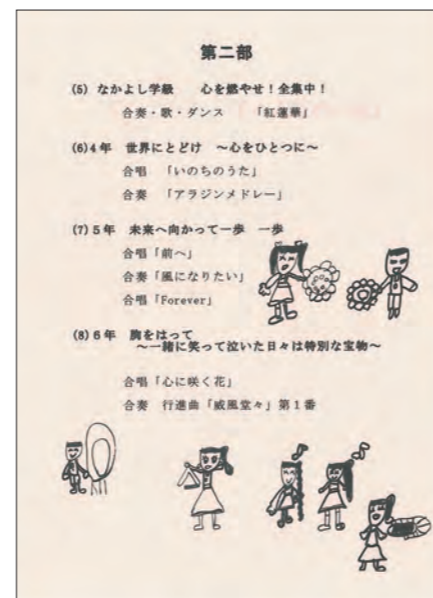
保育教育学科准教授 梶間 奈保

本学科では毎年、乃木小の音楽発表会の練習時期に「音楽会練習サポーター」として学生がお手伝いをさせていただいています。この取り組みは2年前くらいから始め、サポーターの学生も徐々に増え、今年度は、約20名の学生が7月～10月に乃木小学校へ出向き、音楽会練習に向けた児童の練習のサポートをしました。

音楽練習のサポート内容は、楽譜と一緒に確認して曲のリズムや音のチェックをしたり、合奏の際に音を出すタイミングを伝えたり、先生の指示を理解しているか個別に見回ったりしています。時には、曲の譜読みができるように数名のグループを担当することもあります。サポーターの学生たちは、小学校教諭を目指す学生もいれば、教員免許に関係なく音楽が好きな学生も多く、自分の音楽経験を生かして子どもたちと関わりたい、音楽の楽しさを一緒に感じたいと思い参加をしています。中には、児童に伝える難しさを感じている場面もありますが、学生たちは子どもたちに「こんな難しい曲ができてすごいね」「どこか分からないところある？」と積極的にに関わり、児童の練習に励む姿を認め、応援をしています。

音楽会は一見、成果発表だけの場として捉えられがちですが、子どもたちが楽譜を手にした日から、発表の本番の日を迎えるまで、たくさんの時間を通して音楽と向き合い、自分の演奏について考えています。できなかったリズムが叩けるようになっていたり、周りの人の歌声を聞いて自分の声を合わせる楽しさを感じた日があったりと、その子なりの頑張りが日々の練習であると思います。周りからすればほんの些細なことではありますが、その積み重ねが児童の音楽表現を支えます。おそらく、そういった児童の姿を教師側が全てを捉えて声をかけることが大事だと思いますが、色々な業務や指導の中で、対応が難しい場合もあります。1人の教師だけではなく、本学の学生がサポーターとして児童に関わりながら、小学校の先生の音楽指導の力になることができればと思っています。

私たち音楽会練習サポーターは、3か月の短い期間の関わりではありますが、最後の方の練習になると、子どもたちの音楽が生き生きとしています。サポーターとして参加した学生が、この取り組みを通して、子どもの音楽表現のプロセスの大事さを実感し、それを保育・教育現場で子どもたちと楽しく音楽活動することにつなげていってほしいと思います。



小学校におけるプログラミング教育 6年理科におけるMicro-bitを使ったプログラミング授業

保育教育学科教授 高橋 泰道

小学校では令和2年4月より新学習指導要領が実施され、プログラミング教育が開始されました。プログラミング教育は、情報活用能力育成の柱の一つであり、小学校においては、「児童がプログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動を各教科等の特質に応じて計画的に実施すること」と規定されています(文部科学省、2018)。しかし、実際に実践する上での教材は高価で、各小学校で揃えることが難しい状況です。

そこで、本学の教材を島根県内の小学校に貸し出し、6年理科「電気の利用」の単元で、プログラミングの授業実践研究を行いました。授業実践を通して、児童は、プログラミングの授業に対して、概ね好意的な印象をもっており、プログラミング的思考の育成だけでなく、日常生活との関連についても理解を深めることができることが明らかになりました。



乃木小 音読支援の取組 よみめいじんをめざせ！ 多層指導モデルMIMを活用した読む力を育む取組

保育教育学科准教授 内山 仁志

令和3年10月から12月までの3ヶ月間、週2回、乃木小で2年生を対象にした音読支援にかかわらせていただきました。毎回20分間の取り組みの中で、大きな声で楽しく取り組むことをモットーにして、ある時は、言葉が何個の音で、どんな風に成り立っているのか、手をたたいたり、体を動かしたりして表現し、またある時は早口言葉に挑戦し、そしてまたある時は、音読を活用した漢字習得法を実践して「よみめいじん」を目指しました。本学のひまわりサークルの学生が「おんどくお姉さん」としてこの取組を支えてくれました。その結果、ほとんどの児童の言葉の認識力が高まりました。この時期に言葉の仕組みを系統的に学ぶことで読み能力が飛躍的に向上するということが明らかとなりました。また、小学校低学年の時期は読む力が急速に発達する時期である一方で、つまづく時期でもあります。通常、読みに困難を抱える児童は低学年では気づかれにくいのですが、この取組が支援の必要な児童に適切な支援体制を構築するきっかけ作りになりました。誰一人取り残さない社会の実現に向けた取組としても重要に感じています。



実際の音読支援の様子



使用した教材



終了後に認定証を授与





子どもたちの作品で文化ホールを装飾しちゃお!

アルテピア(安来市総合文化ホール)のとの連携活動

保育教育学科准教授 福井 一尊

安来市総合文化ホールアルテピアは、市民の文化芸術活動による新たなコミュニケーションを育むまちづくり拠点として2017年9月に開館しました。以来、冬の季節にはエントランスホールにクリスマスの装飾として「鉄の街」ならではの鉄製ツリーがお目見えし、「HAGANE ツリー」として地域に親しまれています。本年度の装飾は、保育教育学科の福井一尊准教授が監修し、安来市の全保育所・幼稚園の子どもたちの作品とコラボレーションしました。園児たちに廃材(ペットボトル)を使って、自分の夢をテーマに作品制作をしてもらいました。市内全域から集まった約200個の子どもたちの「夢」作品と、福井准教授が「コロナ禍においてもつながりを大切にしていこう」という思いで1,100枚のマスクで作った作品によって構成しました。本学科の学生は、子どもたちに示す参考作品を制作して協力しました。11月28日(日)にはライトアップ点灯祭が開催され、コンサートや装飾ワークショップは多くの親子連れで賑わいました。幼児教育と地域社会、文化施設の3者連携の可能性について、地域の方々と一緒に確認できました。



点灯祭に集まった地域の方々



点灯祭のチラシ



完成したクリスマスの装飾

初めてのWEB展と、巡回展を開催!

「障がい者アート作品展」を通した障がい理解への取り組み

保育教育学科准教授 福井 一尊

「島根県障がい者アート作品展」(主催:島根県)は、これまで県立美術館を会場に10年間開催してきました。コロナ禍である本年度は、初めて作品画像をWEB上で応募していただき、展覧会もWEB上で開催しました。また、これまでは県立美術館(松江市)のみでの鑑賞機会でしたが、益田市(会場:グラントワ)に前年度作品を巡回させることで、県西部の方々にもじっくり作品を楽しんでいただきました。本展は保育教育学科 福井一尊准教授が県障がい者文化芸術活動推進協議会長として、また審査委員長として運営に携わっています。県内全域から作品が寄せられる本展審査会は関係施設職員の研修の場としても位置づけられています。今年の取り組みは、WEB展ならではの、じっくり見たり、画像を拡大させたりして楽しんでいただきました。また県西部では本物に触れる初めての機会になりました。次年度以降がどのような社会情勢であっても、障がい者の表現活動を保障し、県民の皆様に楽しく鑑賞していただける機会を創出していきます。



写真2 巡回展のポスター



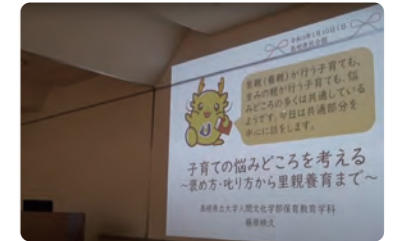
写真1 WEB展覧会のポスター

里親普及啓発講演会

保育教育学科准教授 藤原 映久



厚生労働省によれば、児童虐待などにより家庭で生活できない子どもたちは、日本全体で4万5千人程度いると言われています。そのような子どもたちに生活の場と生活を共にする大人を与えるのが、社会的養護と呼ばれる制度です。そして、従来、そのような子どもたちの多くが児童養護施設などの施設で生活していましたし、今でもそうです。しかし、平成28年に児童福祉法が改正され、日本の社会的養護は施設養護から家庭養護に大きく舵をきろうとしています。家庭養護というのは、地域において家庭と同様の養育環境で子どもたちを養育する社会的養護です。代表的な制度が里親¹⁾です。しかし、日本の社会ではまだまだ里親に対する認識は不十分であり、里親制度が社会に浸透しているとは言い難いのが現状です。そのような中、少しでも里親制度を知ってもらおうと、令和3年1月10日に島根県が「里親制度普及啓発講演会」を開催しました。その中で「子育ての悩みどころから考える～褒め方・叱り方から里親養育まで～」との演題で講演をさせていただきました。現在でも、しまねっこチャンネル²⁾で視聴が可能です。現在、少しずつではありますが、里親の下で生活する子どもたちは増えてきています。皆さんも、是非、里親制度に関心を持ってください。



1) 里親とは、様々な事情により生みの親のもとで生活できない子どもたちを預かり、公的責任の下で養育する制度です。なお、里親になるためには、研修の受講と登録が必要です。

2) <https://www.youtube.com/watch?v=tQPn3fBmttg&t=10s>

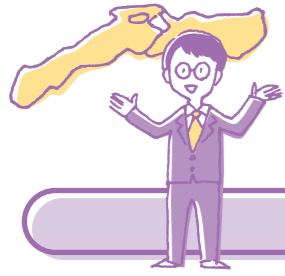
小児救命救急法を身に付ける!

子どもの命を守るための学び

保育教育学科准教授 前林 英貴

近年、保育・教育現場において子どもに関する事故は多様化しており、軽微な怪我から重い後遺障害・死亡を含む重大な事故が毎年報告されています。特に、子どもの事故による死亡原因では、窒息や溺水などの呼吸原性による心停止の割合が大部分を占めているため、保育士や学校教員など子どもに関わる職種では、人工呼吸の技術修得は必須であり、小児の解剖学的・生理学的特徴を十分理解しておく必要があります。しかし、教員養成を行う大学のカリキュラムでは、救命救急法を学ぶことのできる課程が限定的であるのが現状です。本学科では学生が身に付けるべき知識やスキルに明確な科学的コンセンサスに基づいた演習内容を設定し、同時に松江市消防の「普通救命講習III」を取り入れ、単位認定と併せて受講した学生に修了証を発行しています。修了証の発行は、学生が自身の学習成果を実感できるだけでなく、継続して小児救命救急法を学んでいくためのきっかけにもなります。この科目は、保育士・幼稚園教諭を目指す学生だけでなく、小学校教員を目指す学生も多く受講しており、小児救急に特化したこの取り組みは今後も続けていきたいと思っております。





地域を知り考えるための教育

観光まちづくり演習

地域文化学科講師 竹田 茉耶

「観光まちづくり演習」は、地域に固有の景観や歴史、生業や生活文化を活かした観光まちづくりの取り組みを実践的に学び、地域資源の活用、生活と観光が共存・融合した持続可能な地域づくりの仕組みや手法について理解を深めることを目的とした科目です。

今年度も出雲市平田町にある木綿街道をフィールドに、「木綿街道の暮らしと記憶」とのテーマで取り組みました。木綿街道のかつての風景や記憶、雲州平田船川の昔の姿について地域の方々にお話を伺うとともに、写真や地図などの資料を収集しました。そうした中で、雲州平田船川はさまざまな場面で人々の暮らしとともにあったことが分かりました。洗濯場や風呂の水を取り入れる場であり、子どもたちには水泳や田舟乗り、釣りなどの遊び場であり、夏の風物詩の七夕祭りのステージであり、農家の人々

にとっては稲を運ぶ手段であり、あるいは骨休めとしての「美保参り（泥落とし）」の足であり...と雲州平田船川の多様な役割を知ることとなりました。また、提供いただいた昭和初期の商店の様子を記した地図の分析からは、船川が輸送路としての役目を失っていくことと符合して、まちの機能が変化していく様子を捉えることができました。

地域の「暮らしと記憶」を辿ることで、その土地の“生活の風景”や“らしさ（魅力）”を再認識することができました。



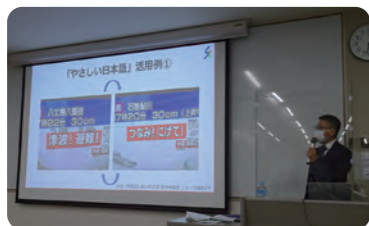
多文化共生論

地域文化学科准教授 増原 善之 / 准教授 塩谷 もも

「多文化共生論」は、地域における多文化共生社会の現状や課題について学びながら、互いに多様性を認めあう社会をつくるために私たちはどうすればよいのか、ということを中心に考えていく科目です。

今年度は、しまね国際センターから講師をお招きして「やさしい日本語」の実習を行うとともに、県内で実際に行われている取り組みを理解するため、松江市役所、島根県 JICA デスク、島根県立宍道高校、あさひ公民館（松江市）、ダイバーシティうなん toiro（雲南市）、日本語交流クラブ GOTO☆ワンハート（江津市）、島根モスク・イスラム文化センター（松江市）などで多文化共生に関わる活動をなさっている方々や県内在住の外国人の方々から直接お話を伺いました。

本科目の学びを通じて、学生たちは地域の課題を「自分事」として捉え、自身には何ができるのかを具体的に考えてくれるようになりました。一人でも多くの学生が、ここで学んだことを活かして地域社会に貢献できるよう、授業内容をさらに充実させていきたいと思っています。



Kids' English

地域文化学科准教授 ラング クリス

地域文化学科2年生の科目「Kids' English」は、本学の絵本専門図書室「おはなしレストランライブラリー」等で、地域の子供達を対象に英語絵本の読み聞かせ・歌・アクティビティなどを発表するために準備と練習を行い、やさしい英語を使って子どもの興味を惹きつけながら交流する力を身に付ける科目です。

令和3年度は、10月から1月にかけて、松江市立乃木小学校で1年生から6年生まで各クラスで朝の読み聞かせを行いました。おはなしレストランライブラリーでの活動は休止しましたが、感染状況が改善すれば、大学祭やクリスマスに合わせた特別イベントを再開する予定です。

今後も、地域の皆様に喜んでいただけるような教育研究活動を進めていきたいと考えています。



コロナ禍以前の読み聞かせの様子



大森まちなか図書館計画

図書館情報学ゼミ

地域文化学科准教授 木内 公一郎

大森まちなか図書館とは、世界遺産石見銀山のある大田市大森町に設置予定の図書館のことです。旧「松原邸」のなかに図書館、カフェ、コワーキングスペースを設置します。運営の主体は島根県立大学であり、建物の所有者である中村ブレイス、群言堂、石見銀山資料館の4者が協力しています。

図書館情報学ゼミとしては2020年6月から設立準備の一環として調査研究を行っています。大森町の概要、読書環境、観光と図書館をテーマにして文献調査を行い、旧「松原邸」の見学や町の観察調査を実施しました。その調査結果をもとにゼミで議論を行い、図書館のコンセプトを作成し、大学に提案しました。2021年度は「図書館資料収集方針」の策定作業を実施しています。

準備だけでなく開館後は図書館情報学ゼミも含め、県立大学3キャンパスの学生も運営に加わります。交流の場として市民、観光客、学生の交流が期待されています。また市民生活の支えになり、大森町の豊かな文化や自然を県内外の皆さんに伝えることができれば幸いです。開館は2022年9月を予定しています。





地域を見つめる多様な研究

出雲の神話・伝承についての研究

地域文化学科准教授 山村 桃子

島根県東部・旧出雲国は、出雲神話の舞台として有名です。イザナミが葬られたという比婆山、イザナギが黄泉国から往還する際に通った黄泉比良坂、スサノオが降り立った斐伊川の上流・鳥上山、オオクニヌシが鎮まるとされる大社など、多くの地点が県内にあり、その場所にも複数の説があります。

出雲神話は、『古事記』の中でも研究史が厚い分野であり、根の国はどこにあるのか、黄泉比良坂とはどのような坂なのか、などの議論も一時期は盛んになりました。私自身は現在、天皇神話とされる『古事記』において、「出雲神話」はどのような意味をもつのか、ということを考えています。

また、県内には古代の神話に基づいた地域伝承があちこちに息づいています。とりわけ斐伊川流域にはヤマタノオロチにまつわる伝承が多く、地域の歴史とともに変容した姿がうかがえます。そうした伝承の存在は、私も島根県に来て初めて知ったことでした。実際にその地に足を運んでみないとわからないことは多くあります。書かれた神話と、それらを受け止めて地域において育まれた伝承の双方に目を向けて、今後も研究と教育をすすめていきたいと思えます。



石見地方の伝統的建造物群保存地区の住居管理と瓦屋根景観

地域文化学科准教授 藤居 由香

住居学の一分野である地域居住学の科目「日本文化論（居住文化）」「しまねのまちづくりと地域資源」で扱う共通テーマが「瓦屋根」です。瓦の考古学的研究は多いものの、住居管理から瓦屋根景観を捉える研究はあまりみられません。近年は向学心旺盛な学生達に恵まれ、共に調査研究ができるようになり、今年度は文化財の保護と居住者の住宅維持の観点から町並み景観が保全される文化庁選定の重要伝統的建造物群保存地区がある津和野町と旧温泉津町を対象地域としました。

町並み景観の地域性継承にあたり、昨年度は「石州瓦」の景観材料研究を行い、今年度は「伝統的建造物」と「文化財建造物」の管理に関わるセクターへの聞き取り調査と建造物の物理的要件の分布調査を実施しました。住宅の維持管理には様々な要素があり、住生活を別にすれば、建築的特性の差異に加え、敷地の抱える条件、そして行政施策の影響を受けます。さらに将来の増改築に対する施主の意向により、建築材料の選択傾向に違いがみられ、住宅そのものと瓦屋根景観が変容していきます。



津和野伝統的建造物群保存地区



温泉津伝統的建造物群保存地区



海士町における民具の保存と利活用に関する研究

地域文化学科准教授 中野 洋平

松江キャンパス民俗学研究室では「海士町における民具の保存と利活用に関する研究」を進めています。「民具」とは、生活や生業で使用するため、自分たちで造ったり、購入したものを改造したりした道具類です。例えば鍬や鋤などの農具、作業着や行灯といった生活用具などです。

これら民具は、私たちの生活や生業の特徴、変遷を理解するための資料として、これまで博物館などで積極的に収集されてきました。しかし近年、予算や人手の不足から、収集した民具を整理したり、有効に活用したりすることが困難となり、倉庫の奥で大量に「死蔵」されていることが全国的な問題となっています。

島根県海士町も例外ではありません。同町南端にある崎地区では、これまで住民有志により多くの民具が収集されましたが、その整理や今後の活用が課題となっています。そこで私たちは、海士町教育委員と協働で崎地区収集民具の整理調査を進めています。



地域の学校から学ぶ教職課程

地域文化学科准教授 古賀 洋一



現在、地域文化学科では2・3・4年生あわせて約40名の学生が、教員免許取得に向けた学びを進めています。教師としての実力をつけるうえでは、大学での学びだけでは限界があります。理論だけでは掴めない生徒の実態や教師の授業の工夫・意図については、学校現場からの学びが欠かせません。今年度は、何よりも教育実習において、地域の学校に多大なるご協力を賜りました。それ以外にも、教職課程では大きく3つの取り組みを行っています。

一つ目は、湖南中学校の放課後学習会へのボランティア参加です。ここには1年生も参加しています。最初は遠巻きに生徒を眺めていた学生も、回数を経るごとに生徒との関わり方を学んでいきます。目線や声のトーン、身体の向かい合わせ方などは、生徒との生の関わりを経なければ掴むことはできません。

二つ目は、開星中学・高等学校での授業観察実習です。ここでは、もちろん生徒の学びの過程や実態、可能性についても学びますが、同時に、目の前の生徒に合わせた教師の授業の工夫や、即興的な判断についても学んでいきます。

三つ目は、教職実践演習での実地調査です。今年度は、開星中学・高等学校と松江商業高等学校にお世話になりました。国語や英語の授業はもちろん、現在注目を集めている「総合的な探究の時間」や簿記といった商業高校に特徴的な授業についても、学ばせていただきました。

コロナ禍にも関わらず、学生の参加をお認めくださった関係の皆さまに改めて感謝いたします。学生が教師への夢を叶えられるよう、地域の学校との連携を維持・拡充し、さらに学びの場を充実させていきたいと考えています。



キッズランド・キッズシアター2021

学生の主体的な学びを目指して



保育学科教授 梶谷 朱美 / 准教授 渡邊 寛智 / 講師 小林 美沙子

保育学科では、平成 30 年度より「保育内容演習Ⅰ・Ⅱ」の授業（通年）が新設されました。この授業では、地域の乳幼児を対象とした「キッズランド」「キッズシアター」の2つの取り組みを行っています。この授業では、「子どもたちのために創る」を大切に、子ども主体の保育のあり方を実践する中で学びます。また、学生が主体的に活動を進めて行く中で、保育内容を創り出す喜びを感じ、主体的に学ぶ姿勢を育てることを大切にしています。この主体的に学ぶ姿勢は、本学を卒業後、保育者として保育実践を進めて行く際に必要となる実践的指導力を高めるための素地となる大切な力です。

本年度は、新設の短期大学部4期生である41名の1年生が活動を行いました。COVID-19に配慮しながら幼稚園のぎにおいて「キッズランド」を行いました。また、「キッズシアター」についても COVID-19 の配慮のもと学内者向けに発表を行いました。今年度も先輩たちのアドバイスを基に子どもたちの姿を想像しながら活動を進めてきました。学生一人ひとりが子どもの笑顔を思い浮かべ、将来の保育者への道をいっばい歩み始める活動となったのではないのでしょうか。



「こっそり畑プロジェクト」 島根県立松江農林高等学校との高大連携の取組

子どものくらしを広げる「食と農の活動」を授業に取り入れる

保育学科准講師 小林 美沙子 / 教授 宮下 裕一 / 教授 梶谷 朱美

保育学科の2年生は「幼児と環境」の授業で松江農林高校の曾田教諭から夏野菜の育て方などを教わりました。また、7月には松江農林高校の生徒さん7名と保育学科の2年生19名が交流会をもち、サツマイモやサルビア等の苗と一緒にプランターに植えたり、学生がキャンパス内を案内したり、貴重な時間を共有しました。この高大連携の取組は、保育者になる学生にとっては食と農の知識や技能を学べる場であり、一方、農林高校の生徒さんは県立大生と交流し学生生活にも触れて進路選択を固めるねらいもあります。保育学科では学生同士が直接学べる高大連携の取組を継続していきたいと考えます。



はじめまして、松江農林高校の皆さん



サツマイモの苗の植え方は？



ブルーサルビアの種を撒こう



プランターで育てるぞ



幼児の体力測定in島根県立大学松江キャンパス

保育者としての資質を高めるとともに民間の企業と連携し地域に貢献する活動

保育学科教授 梶谷 朱美

梶谷ゼミの学生 8 名は、12 月に山陰初となる幼児の体力測定会の企画運営に参画しました。この活動は、幼児期に身体を動かす楽しさや大切さを知ってもらい心身の成長につなげるプロジェクトで、民間企業 (TSK やメディアスコープ) と連携して本学体育館で開催されました。学生は地域の子どもたちと保護者と直接関わり、測定の方法を分かりやすく説明したり、一人一人の記録を計ったりする中で運動遊びの大切さを伝えました。来年度は、本学主催で年間 3 回程度幼児の体力測定会を行い、地域に貢献できる保育者の育成をめざすとともに「乳幼児の心身の発達を促す運動遊び」の啓発を行っていかうと思います。



体力測定会を開催します! ~保育学科の学生が運営~



テニスボール投げに お父さんも挑戦?



ガンバレ、ガンバレ、鉄棒ぶらさがり

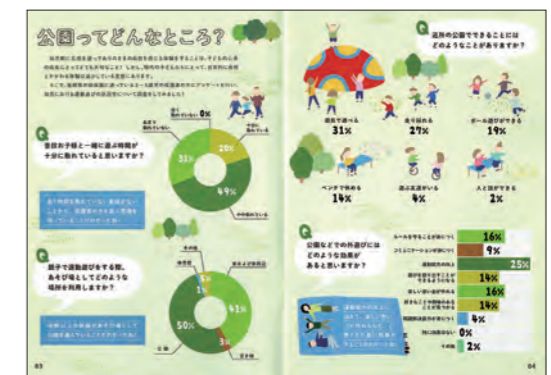
外遊び啓発冊子

「さあ、でかけよう! しぜんのなかのだいぼうけん」の作成を通して
地域の課題解決に取り組み、地域に貢献する保育者をめざす

保育学科教授 梶谷 朱美

保育学科の 2 年生は、卒業研究の一環として幼児をもつ保護者を対象にした外遊びを紹介する冊子を作成しました。新型コロナウイルスの影響で幼児が自宅にこもりがちの実態を質問紙調査で把握し外遊びの意義を保護者に紹介すると同時に運動への関心を高めるねらいを含めました。

市内の A 幼保園の保護者にアンケートを行い、コロナ禍の前と比較して外で遊ぶ頻度が減ったことやメディア接触やゲームの時間が増えている現状を明らかにしたうえで公園など県内 8 カ所の遊び場を現地調査し、実際に自然の中で体を動かす楽しさを一緒に味わってもらえるように工夫しました。冊子は A5 版で 14 ページ。鳴り砂で思う存分走りまわり、砂遊びもできる「琴が浜」や遊具が充実した「中海ふれあい公園」などの県東部の 8 カ所をとり上げ特徴を紹介しました。また、季節ごとのスタンプラリーを作成し、「冬 - たこあげをしてみよう」「夏 - ころがってみよう」と課題を設定し楽しみながら遊べるような構成にしました。今後も保育学科では、保育者となる学生が地域の課題を見つけ島根の子どものために課題解決する取組を推進していきたいと思っています。



地域の情報を発信する 情報応用

総合文化学科准教授 加藤 暢恵

情報応用では、地域の情報を発信する技術について学び、学んだ技術を用いて、自ら調査した情報を世界へ向けて発信する演習を行っています。具体的には、大学周辺に調査に出かけ、一般的に市販されている地図には記載されていない情報（自動販売機、街灯、公園の遊具など）を収集します。その後、収集した情報をもとに電子地図（OpenStreetMap）を編集します。これらの活動を通して、身近な地域の小さな情報に目を向け、地域を知ること、地元の情報を地元から発信することの意義について考えます。



フィールドワークへのいざない 総合文化研修計画I

総合文化学科教員

この授業の目的の一つは、自ら取り組むべき「問い」を立て、考える「仮説」を実際に「検証」という、「学び」の過程を体験することにあります。それが、「与えられた問いに答え」「すでに決まっている正解に辿り着く」のではない、「大学での学び」の基礎になると考えるからです。そのため、学生には大きなフィールドを与え、自ら調べた内容をもとに疑問点から問いを立てる作業を課します。

新型コロナウイルス蔓延の影響から、前年度に引き続き、宿泊を伴わない松江市内での研修を模索。2021年度は、美保関町をフィールドとし、美保関、七類、北浦、森山の各地区を、4～5人のグループからなる班の2班ずつで担当させ、班ごとに調査を進めることにしました。4つの地区それぞれについて調べはじめた各班には、途中経過を発表してもらい、アドバイスしました。それも踏まえ、調べた内容から「問い」を立て、「仮説」を考えます。今回は、美保関観光協会のご協力をいただき、インタビュー対象者を紹介していただきました。

フィールドワークの実践 総合文化研修I

総合文化学科教員



「総合文化研修計画I」で「問い」を立てた各班は、「仮説」を検証するため、美保関観光協会からご紹介いただいた方にアポイントを取り、インタビューにうかがいました。うかがった先は、班ごとに異なります。具体的には、美保神社権禰宜および氏子の代表者、美保関で旅館を営む方々、埋蔵文化財調査センターの方、本庄で魚屋を営む方、横田神社宮司、七類の元自治会長、常楽寺住職および関係の方、北浦の元自治会長、北浦へ1ターンされた方、美保関小学校の先生、伊奈頭美神社・伊奈阿氣神社宮司、とさまざまです。

自分たちで立てた「問い」についての「仮説」は、あっけなく覆されることもあれば、思いのほか的を射ていることもありました。そして、何よりも、現地に行って直接お話をうかがうことは、書籍やWEBサイトから得た情報とは異なる刺激をもたらしました。最終報告会を経てまとめた『最終レポート集』には、インタビューをとおして得た、驚きや感銘がたくさん記されることになりました。



島根の魅力を英語で発信

文化とガイド

総合文化学科准教授 キッド ダスティン

松江を中心に、山陰両県の観光スポットを英語で効果的に説明できるようになることを目標とし、そのために必要な語彙や情報を学びながら、山陰の文化や歴史の知識を深めます。また、ガイド実践などを通して、実際のガイドに役立つレベルのコミュニケーション能力と英語の語彙・表現力を向上させます。



A B C

地域の文化を取材して紹介

文化情報誌制作



総合文化学科教授 山根 繁樹 / 非常勤講師 小倉 佳代子

総合文化プロジェクト科目群に属する文化情報誌制作では、山陰地域の小さな文化を探して取材し、小冊子の制作を行います。これは、2016年まで発行されていた「のんびり雲」の後継誌を作るものです。まずは特集テーマとなるワード選び。2021年度のワードは「むすぶ」です。このワードから発想した、記事として紹介したいことをアイデアとして出し、企画を練ります。企画が通れば、取材対象にアポイントを取り、自分で取材をして記事を書き、写真とともに誌面レイアウトをします。その際には、2年春学期の授業「文化情報表現法」で培ったDTPの力を駆使します。

地域で活動されているさまざまな人とのかかわりをおして、地域の文化に携わる方々の思いを感じる授業です。



教育課程のための地域との連携

令和3年度 実習実施施設・機関

保育教育学科

区分	所在	施設・機関名	備考
保育所	松江市	松江市立城東保育所・城西幼保園・白濁保育所、しらとり保育所、松江ナザレン保育園、松江認定こども園、ふたば第一こども園、ふたば第三こども園、ふたば第四こども園、みどり保育所、愛恵保育園、袖師保育所、虹の子保育園、なの花保育園、なの花保育園のぎ、なかよし保育園、こばと保育所、わかたけ保育園、乃木保育所、のぎこども園、しらゆり保育園、つわぶきこども園	1年秋学期・保育実習I(保育所)
	出雲市	ひらた西保育園、こぐま保育園、おおつか保育園、たちばな保育園、平田保育所、ひまわり第2保育園	
	安来市	安来市立認定こども園広瀬・安来保育所	
	江津市	認定こども園のぞみ保育園	
	鳥取県境港市	栴檀保育園	
児童福祉施設等	松江市	鳥根県中央児童相談所、松江赤十字乳児院、鳥根東光学園、松江学園、国立病院機構松江医療センター、児童発達支援センターやましろ・のぎ、しののめ寮、さくらの家、松江市立東津田児童館	2年春学期・保育実習I(施設)
	出雲市	児童心理療育センターみらい	
	安来市	安来学園、櫻苑	
	米子市	米子聖園ベビーホーム	
	鳥取県西伯郡大山町	光徳子供学園	
幼稚園	2年春学期・保育実習I(施設)	松江市立幼保園のぎ、松江市立古志原幼稚園、松江市立城西幼保園、松江市立中央幼稚園、松江市立城北幼稚園、松江市立津田幼稚園、松江市立母衣幼稚園、松江市立やくも幼稚園、松江市立揖屋幼稚園、松江市立しんじ幼稚園、育英幼稚園	3年春学期・秋学期・教育実習
	安来市	安来市立安来幼稚園、安来市立島田こども園、安来市立認定こども園荒島	
	出雲市	出雲市立平田幼稚園、認定こども園光幼保園、出雲市立中部幼稚園、出雲市立塩冶幼稚園、出雲市立大津幼稚園、出雲市立鷲巣幼稚園、出雲市立四絡幼稚園	
	雲南市	雲南市立大東こども園	
	倉吉市	聖テレジアこども園	
	鳥取市	鳥取市立河原幼稚園、認定こども園鳥取第四幼稚園	
	鳥取市	鳥取市立富桑保育園	
保育所	松江市	松江市立城東保育所、法吉保育所、たまちこども園、虹の子保育園、袖師保育所、なの花保育園のぎ、乃木保育所、みつき田和山保育園、みどり保育所、こばと保育園、錦新町保育園	3年春学期・保育実習II(保育所)
	出雲市	ひらた西保育園、ねむの木保育園、おやま保育園	
	安来市	安来市立認定こども園母里	
	鳥取県米子市	米子市立東保育園	
	鳥取県西伯郡南部町	南部町立すみれこども園	
	鳥取県倉吉市	どんぐりこども園	
	鳥取県鳥取市	鳥取市立富桑保育園	
小学校	松江市	松江市立揖屋小学校・大庭小学校・古志原小学校・雑賀小学校・中央小学校・乃木小学校	4年春学期教育実習
	出雲市	出雲市立四絡小学校・灘分小学校	
	大田市	大田市立大田小学校	
	雲南市	雲南市立大東小学校・三刀屋小学校	
	松江市	鳥根県立松江養護学校・松江清心養護学校・松江緑が丘養護学校	
特別支援学校	出雲市	鳥根県立出雲養護学校	4年春学期・秋学期教育実習
	邑智郡邑南町	鳥根県立石見養護学校	
	隠岐郡隠岐の島町	鳥根県立隠岐養護学校	
	江津市	鳥根県立江津清和養護学校	
	浜田市	鳥根県立浜田養護学校	
	益田市	鳥根県立益田養護学校	

保育学科

区分	所在	施設・機関名	備考
保育所	松江市	社会福祉法人ねむの木福祉会にじいる保育園、乃木保育所、運動公園前保育所チャイルド、なの花保育園のぎ、ふたば第一こども園、社会福祉法人ねむの木福祉会あおぞら保育園、松江市立白濁保育所、社会福祉法人はなぶさ認定こども園第2玉湯さくら保育園、ふたば第三こども園、なかよし保育園、湯町保育園	1年春学期・保育実習IA(保育所) 2年秋学期・保育実習II(保育所)
	安来市	安来市立安来保育所	
	出雲市	社会福祉法人あい来福祉会かなで保育園、社会福祉法人星隆会ひかり保育園、社会福祉法人出雲北陽ほくよう保育園、なかの保育園、出西保育園、社会福祉法人浜山福祉会浜山あおい保育園	
	雲南市	社会福祉法人たんぼぼたちばら保育園、雲南市立かめ保育園	
	大田市	社会福祉法人大田保育センター認定こども園あゆみ保育園、サンチャイルド長久さわらび園、相愛保育園	
	江津市	社会福祉法人花の村さくらこども園	
	浜田市	聖バルナバ保育園	
	益田市	まるとに保育所	
	邑智郡邑南町	社会福祉法人瑞穂福祉会出羽保育園	
	鳥取県米子市	キッズタウンかみごとう、米子福祉会河崎保育園、福米東ひまわり保育園、のぞみ保育園	
児童福祉施設等	鳥取県境港市	外江保育園	2年春学期・保育実習IB(施設)、2年秋学期保育実習III
	鳥取県西伯郡大山町	大山町立名和さくらの丘保育園	
	広島県広島市	株式会社ネクサスいちご保育園祇園	
	兵庫県丹波篠山市	社会福祉法人篠山福祉会認定こども園篠山こども園	
	京都府舞鶴市	社会福祉法人相愛福祉会相愛こども園	
	京都府京丹後市	京丹後市立網野こども園	
	和歌山県岩出市	社会福祉法人ようすい会山崎北こども園	
	松江市	松江赤十字乳児院、鳥根東光学園、双樹学院、松江学園、松江医療センター、児童発達支援センターやましろ、児童発達支援センターのぎ、しののめ寮、センターはばたき、さくらの家	
	出雲市	児童心理療育センターみらい	
	安来市	櫻苑、安来学園	
幼稚園	松江市	松江市立幼保園のぎ・古志原幼稚園・城北幼稚園・城西幼保園・川津幼稚園・古江幼稚園・津田幼稚園・たまゆ幼稚園、育英幼稚園、育英北幼稚園、松江暁の星幼稚園	2年春学期・教育実習
	安来市	安来市立安来幼稚園・認定こども園荒島	
	出雲市	出雲市立荘原幼稚園・川跡幼稚園・長浜幼稚園、認定こども園光幼保園	
	雲南市	雲南市立寺領幼稚園・大東こども園・三刀屋こども園・木次こども園	
	大田市	大田市立大田幼稚園	
	江津市	あさりこども園	
	鳥取県米子市	認定こども園あけぼの幼稚園、米子みどり幼稚園、良善幼稚園、みずほ幼稚園	
中学校・高等学校	松江市	学校法人大多和学園開星中学・高等学校、松徳学院中学高等学校	3年秋学期・授業観察実習
	松江市	学校法人大多和学園開星中学・高等学校、松江市立湖南中学校	4年春学期・教育実習II

地域文化学科

区分	所在	施設・機関名	備考
中学校・高等学校	松江市	学校法人大多和学園開星中学・高等学校、松徳学院中学高等学校	3年秋学期・授業観察実習
中学校・高等学校	松江市	学校法人大多和学園開星中学・高等学校、松江市立湖南中学校	4年春学期・教育実習II

区分	所在	施設・機関名	備考
中学校・高等学校	安来市	島根県立安来高等学校	

令和3年度

授業における連携(ゲストスピーカー、非常勤講師、見学先等)

学科	授業名	授業担当者名	連携機関、見学先等
全学	しまね文化論	工藤泰子教授・増原善之准教授	出雲大社/万九千神社/島根県立古代出雲歴史博物館/島根県立三瓶自然館/石見銀山資料館/鹿島歴史民俗資料館/隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会/株式会社田部/中村茶舗/合資会社一文字家/一般社団法人鉄の歴史村地域文化研究所
保育教育	表現研究(児童文化)II	福井一尊准教授/矢島毅昌准教授/梶間奈保准教授	しまね文化振興財団
	言葉研究(読み聞かせ実践)	中井悠加准教授	松江市立幼保園のぎ/松江市立乃木小学校
	キャリアプランニング	保育教育学科教員	株式会社エブリプラン/島根大学附属義務教育学校/島根県立松江養護学校乃木校舎/児童療育心理センターみらい/島根県福祉人材センター
	社会的養護内容	藤原映久准教授	松江地区里親会
	初等音楽科教育法	梶間奈保准教授	「こころ音」雅楽会
	肢体不自由児指導論	西村健一准教授	リコージャパン株式会社 松江事業所
	障害児保育	西村健一准教授	松江市子育て支援センター・トレンド
	知的障害児教育演習	西村健一准教授	島根県立松江ろう学校・NTTドコモ松江支社
	特別支援学校教育実習A・B指導	西村健一准教授	島根県教育委員会特別支援教育課
	視覚障害児教育総論	内山仁志准教授	島根県立盲学校
初等家庭科教育法	多々納道子非常勤講師	島根県金融広報委員会	
地域文化	キャリアデザインI	岩田英作教授	島根県商工労働部/島根県中小企業家同友会
	インターンシップ	岩田英作教授	ジョブカフェしまね
	地域文化論I(小泉八雲)	小泉凡本学名誉教授	小泉八雲記念館
	地域文化論II(出雲)	工藤泰子教授/杉岳志准教授/山村桃子准教授/中野洋平准教授/キッド・ダスティン准教授(総合文化学科)	万九千神社
	地域文化論IV(地域資源)	藤居由香准教授	来待ストーンミュージアム/(まちづくりファシリテーター平元美沙緒氏(島根県外))
	しまね文学探訪	岩田英作教授	小泉八雲記念館/齋藤茂吉鴨山記念館(美郷町)/森鷗外記念館(津和野町)
地域文化/総合文化	しまねのまちづくり	藤居由香准教授	国土交通省中国地方整備局/飯南町まちづくり推進課/松江市防災部/第一生命保険株式会社/(公益社団法人奈良まちづくりセンター(島根県外))
	読み聞かせの実践	岩田裕子非常勤講師/尾崎智子司書/内田絢子司書	松江市立幼保園のぎ/松江市立乃木小学校
地域文化	Kids' English	ラング・クリス准教授	松江市立乃木小学校
	観光まちづくり演習	竹田茉莉講師	一般社団法人木綿街道振興会
	日本文化論I(居住文化)	藤居由香准教授	美保関青石畳通り/美保神社/和鋼博物館/株式会社たなべの杜住宅展示場
	地域文化プロジェクトI・II(地域居住環境学ゼミ)	藤居由香准教授	田部美術館/旧山陰合同銀行/旧日本銀行/堀川沿い擬木杭施工地/津和野町役場/一般社団法人まちづくり/津和野・温泉津・(吹屋(島根県外))伝統的建造物群保存地区/森鷗外旧宅/西周旧居
	地域文化プロジェクトI・II(日本史ゼミ)	杉岳志准教授	清水寺/島根県立古代出雲歴史博物館
地域文化プロジェクトI(国語教育学ゼミ)	古賀洋一准教授	学校法人大多和学園開星中学校・高等学校/松江市立湖南中学校	

学科	授業名	授業担当者名	連携機関、見学先等
地域文化	地域文化プロジェクトI(古典文学ゼミ)	山村桃子准教授	古代出雲歴史博物館
	地域文化プロジェクトI(民俗学ゼミ)	中野洋平准教授	海士町教育委員会
	多文化共生論	増原善之准教授/塩谷もも准教授	島根県立宍道高等学校/しまね国際センター/松江市役所/ダイバーシティうんなんtoiro/日本語交流クラブGOTO☆ワンハート/島根モスク・イスラム文化センター/松江市あさひ公民館/島根県JICAデスク
保育/総合文化	キャリア・プランニング	保育学科教員/総合文化学科教員	松江市役所/東京靴株式会社/モルツウェル株式会社/島根トヨタグループ/株式会社イーウェル/しまね女性センター/株式会社島根人材育成/株式会社DISCO/ジョブカフェしまね/島根県中小企業家同友会/ハローワーク(順不同)
保育	幼児と環境	小林美沙子講師	島根県立松江農林高等学校/曾田教諭
	保育内容演習I	梶谷朱美教授/渡邊寛智准教授/小林美沙子講師	松江市立幼保園のぎ/遊び講習会:北原則夫氏・礼子氏
	卒業研究	梶谷朱美教授	松江市立幼保園のぎ/山陰中央テレビジョン放送株式会社・株式会社メディアスコープ・株式会社こころプラス 仁摩サンドミュージアム・健康公園/琴ヶ浜/愛宕山公園/手引ヶ丘公園/風の丘公園/松江北公園/中海ふれあい公園/陽だまりの丘
	保育教職実践演習	渡部一弘教授/梶谷朱美教授/渡邊寛智准教授/小林美沙子講師	出雲市立平田幼稚園/社会福祉法人山陰家庭学院松江学園/社会福祉法人おおつか福祉会おおつか保育園/米子幼稚園/社会福祉法人ねむの木福祉会にじいろ保育園
総合文化	インターンシップ	総合文化学科教員	ジョブカフェしまね
	へるん探求	小泉凡本学名誉教授/松浦雄二教授(地域文化学科)	出雲大社/小泉八雲記念館
	文化とガイド	キッド・ダスティン准教授	松江城/玉造温泉/大社町神門通り/京店商店街
	総合文化研修計画I/総合文化研修I	総合文化学科教員	美保神社/横田神社/伊奈頭美神社・伊奈阿氣神社/常楽寺/埋蔵文化財調査センター/美保館/福間館/明神館/朝日館/美保関観光協会/三代商店
	文化情報誌制作	山根繁樹教授/小倉佳代子非常勤講師	Green's Baby/きものギャラリー八重垣/NPO法人松江サードプレイス研究会

地域志向研究活動一覧 (平成29～令和3年度)

学科名	vol.9掲載	研究年度	研究タイトル 研究助成等	*H28～H29は編成前の学科へ記載	学内研究者名(役職名は該当最終年度現在) 連携研究者(機関・協力者等)
保育教育学科		R3～	スタートカリキュラムを活用した幼小接続の取組 益田市と島根県立大学の共同研究事業		高橋泰道教授/矢島毅昌准教授 益田市教育委員会
		R3	「ひらがな読み早期改善プログラム事業」 「島根県における読字困難児の個別指導支援システムの構築」 受託研究、しまね地域国際研究、教員個人研究費、科学研究費補助金(基盤C)		内山仁志准教授 出雲市教育委員会
		R2～	「小学校1年生の文字を読む力を育むための取組 ～読字困難児の発見とアセスメントに応じた音読指導～」 「デジタル教材を活用した音読支援」 受託研究、しまね地域国際研究、科学研究費補助金(基盤C)		内山仁志准教授 益田市教育委員会
		R2～	テレプレゼンスロボットによる特別支援教育力向上の取り組み ～島根県立大学×益田市プロジェクト～ 北東アジア地域学術交流研究助成金		西村健一准教授 益田市教育委員会/NTTドコモ/RICOH/読書工房
		H30～	柔道の道場に在籍する「特別な配慮を要する児童生徒(発達障害等を含む)」の実態と支援に関する調査 教員個人研究費		西村健一准教授
		R1	ICTを活用した特別支援教育力向上の取り組み ～島根県立大学×隠岐(OKI)の島プロジェクト～ 北東アジア地域学術交流研究助成金		西村健一准教授 隠岐の島町教育委員会/沖ワークウェル
		H30	海外における障害者(児)の柔道支援の実態について ～国際交流の現場における調査～ 学術教育研究特別助成金研究		西村健一准教授
		R1～	児童養護施設を対象とした継続的な研修の実施 教員個人研究費		藤原映久准教授 島根県(浜田児童相談所)/児童養護施設 聖唹寮
		H29～	里親向け養育支援研修会に関する実践研究 学術教育研究特別助成金(個人研究)、教員個人研究費		藤原映久准教授 島根県(中央児童相談所)/松江地区里親会
		H27～	児童養護施設職員向け養育支援プログラムの開発と実施 学術教育研究特別助成金(個人研究)、教員個人研究費		藤原映久准教授 島根県(中央児童相談所)/児童養護施設安来学園
	H30～R1	放課後等デイサービスを利用する子どもたちの状況とニーズに関する調査 教員個人研究費		藤原映久准教授 松江市内の放課後等デイサービス	
	H30	図画工作科における身体性の可視化がもたらす教育効果の研究 学術教育研究特別助成金(個人研究)		福井一尊准教授 岡山県	
	H30	地域資源の探究・保存・継承を通じた初等教育の理論と実践に関する研究 学術教育研究特別助成金(共同研究)		矢島毅昌准教授/福井一尊准教授/キッドダスティン講師	
地域文化学科	10	R3～	住居管理から検討する伝統的建造物群保存地区の町並み景観の地域性継承 地域貢献推進奨励金		藤居由香准教授
	10	H26～	島根県の歴史的町並み景観と住宅の維持保全に関する研究 教員個人研究費		藤居由香准教授
		R3～	〈山陰「明星」歌人資料〉デジタルアーカイブ作成と公開及びその研究 学長裁量経費(若手支援枠)		山村桃子准教授 北井由香(松江キャンパス図書館)岩田英作教授、寺本喜徳(島根県立女子短期大学名誉教授)奥野久美子(大阪市立大学文学部准教授)
		H27～	島根県における伝説の研究 教員個人研究費		山村桃子准教授
		H25～	『出雲国風土記』研究 学術教育研究特別助成金研究		山村桃子准教授
	10	H24～	『古事記』作品研究 教員個人研究費		山村桃子准教授
		R2～	「大森町まちなか図書館」(仮称)推進計画 地域貢献推進奨励金(R2)・教員個人研究費		木内公一郎准教授
		R1	松江市学校図書館政策の形成過程 学長裁量経費(若手支援枠)		石井大輔准教授(R2.3退職)/木内公一郎准講師

地域文化学科	H30	鳥取県学校司書配置政策に関する研究 教員個人研究費		木内公一郎講師	
	R2～	学校司書との「高次の協働」を通じた国語科教師の学び 教員個人研究費		古賀洋一准教授 開星中学・高等学校	
	R1～	山陰の餅に関する研究 教員個人研究費		塩谷もも准教授	
	R1～	島根半島における当屋交代儀礼(ヨメノイ神事)の研究 教員個人研究費		中野洋平講師 公益財団法人いづも財団	
	R1～	松江市島根町における伝承地名に関する研究 受託研究		中野洋平講師 島根地域まちづくり協議会	
	11	R1～	海士町における民具の保存と利活用に関する研究 しまね地域研究センタープロジェクト研究助成金		中野洋平講師 海士町教育委員会
	H30～	出雲神楽の研究 島根県古代文化センターテーマ研究		中野洋平講師 島根県古代文化センター	
	H30	隠岐における社家神楽の再検討 学術教育研究特別助成金(個人研究)		中野洋平講師	
	H30	加賀旧藩戸における賽の河原霊場形成に関する研究 教員個人研究費		中野洋平講師	
	H30	民俗学による地域理解と地域志向教育 教員個人研究費		中野洋平講師	
	H28～R1	戦後松江における観光行政の展開 科学研究費補助金・基盤研究C		工藤泰子教授 松江市史料編纂室	
H30	観光まちづくりの担い手組織のあり方に関する研究 教員個人研究費		竹田茉耶講師		
保育学科	R2～	学生の主体的な学びの形成に資する保育者養成プログラムの構築		梶谷朱美教授/渡邊寛智准教授/小林美沙子講師	
	R1	学生の主体的な学びの形成に資する保育者養成プログラムの構築		梶谷朱美教授/渡邊寛智講師/小林美沙子講師/小山優子准教授(保育教育学科)	
	H30	学生の主体的な学びの形成に資する保育者養成プログラムの構築 学術教育研究特別助成金(共同研究)		梶谷朱美教授/渡邊寛智講師/中井悠加講師/小山優子准教授(保育教育学科)	
	R2～	保育者の資質向上のための研修プログラムの開発 ～学生と保育者のための運動遊びハンドブックの事例を活用して～ 学術教育研究特別助成金(個人研究)		梶谷朱美教授 雲南市教育委員会/雲南市子ども政策局/雲南市身体教育医学研究所うなん/雲南市内18幼稚園・保育所(園)・認定こども園/雲南市子ども政策局子ども政策課 藤原洋子/雲南市身体教育医学研究所うなん 西川喜久子/のぞみ保育設計研究所長 野津道代	
	H30～	運動遊びにおけるプレーリーダーとしての保育者の役割についての研究 ～雲南市立幼稚園・保育所(園)・認定こども園の実践を中心として～ 学術教育研究特別助成金(個人研究)			
	R1～R2	幼稚園と小学校との円滑な接続のあり方に関する研究 教員個人研究費		梶谷朱美教授 雲南市立寺領幼稚園	
	H30～R2	中学校保健体育教員を対象にしたダンス指導の研修プログラム開発 ～教材理解の促進に焦点をあてて～ スポーツ庁武道等指導充実・資質向上支援事業		梶谷朱美教授 島根大学教授 廣兼志保/島根県教育庁保健体育課指導主事 吾郷修治	
	H29	島根県における障がい者アート作品による障がい理解拡充に向けた研究 学術教育研究特別助成金(個人研究)		福井一尊准教授 島根県/島根県社会福祉協議会	
	H29	初等図画工作科と生活科の複合的観点から捉えた地域資源についての研究 学術教育研究特別助成金(共同研究)		福井一尊准教授/矢島毅昌准教授	
	H29	島根県内保育所における看護師設置状況と放課後等デイサービスによる医療的ケアの課題と展望 学術教育研究特別助成金(個人研究)		前林英貴講師 島根県健康福祉部子ども・子育て支援課保育支援グループ/障がい福祉課保育支援グループ	
	H28～H29	保小中地域連携による「ふるさと基盤教育」の実証研究 益田市・島根県立大学共同研究事業		山下由紀恵教授/鹿野一厚教授/矢島毅昌准教授/福井一尊准教授 益田市教育委員会/益田市保育研究会	
H28～H29	保育・発達支援における「うた遊び手帳」導入研究 学術教育研究特別助成金(共同研究)		山下由紀恵教授/梶間奈保講師/矢島毅昌准教授 松江市立揖屋幼稚園長 秦昌子/松江市立城東保育所長 福頼美恵子		
H29	『出雲国風土記』の英訳研究 学術教育研究特別助成金(共同研究)(H29)		松浦雄二教授/ラング クリス准教授/山村桃子講師/キッドダスティン講師 島根県立大学短期大学部名誉教授 藤岡大拙		

地域連携(貢献)活動の取組状況 2022年2月時点

1 講演会講師等(研修指導含む)

No.	教員名	依頼先	内容(テーマ等)	日付
1	齊藤 一弥 (保育教育学科教授)	益田市立高津小学校	校内研修会「学習指導要領の主旨を踏まえた算数の授業づくり」	令和3年4月30日/11月5日
2	齊藤 一弥 (保育教育学科教授)	江津市立高角小学校	江津市小中学校教職員(主に高角小学校)を対象とする講演会講師 「学習指導要領の主旨を踏まえた算数の授業づくり」	令和3年5月20日
3	齊藤 一弥 (保育教育学科教授)	浜田市立国府小学校	校内研修会「学習指導要領の主旨を踏まえた算数の授業づくり」	令和3年5月27日
4	齊藤 一弥 (保育教育学科教授)	大田市校長会	大市内教職員を対象として開催する「授業づくり研修会」講師 「能力ベースの授業づくりをいかに進めるか」	令和3年7月5日
5	齊藤 一弥 (保育教育学科教授)	出雲市教育委員会	出雲市内教職員を対象とした令和3年度第4回出雲市学力向上研修講座講師 「数学的活動を基軸に据えた算数科授業づくり」	令和3年7月28日
6	齊藤 一弥 (保育教育学科教授)	雲南市教育委員会	雲南市小中学校教職員を対象とする算数・数学科の師範授業と講演会講師 「学習指導要領の主旨を踏まえた授業づくりの基本～実演授業を通して～」	令和3年9月14日
7	齊藤 一弥 (保育教育学科教授)	大田市校長会	大市内小中学校教員を対象として開催する「授業づくり講座」教材研究会の講師 「学習指導要領の主旨を踏まえた算数・数学の授業づくり(教材研究の在り方)」	令和3年10月4,28日
8	齊藤 一弥 (保育教育学科教授)	津和野町立津和野小学校	授業づくり・学校経営研修会講師(津和野町小中学校研修を兼ねる) 「学習指導要領の主旨を踏まえた授業づくり」	令和3年10月14日
9	齊藤 一弥 (保育教育学科教授)	島根県教育センター	島根県内小学校教諭を対象とする小学校算数科教育講座講師 「数学的活動と算数授業改善」	令和3年10月15日
10	齊藤 一弥 (保育教育学科教授)	大田市校長会	大市内小中学校教員を対象として開催する「授業づくり講座」教材研究会の講師 「学習指導要領の主旨を踏まえた算数・数学の授業づくり(授業研究の具体)」	令和3年11月19日/12月6日
11	齊藤 一弥 (保育教育学科教授)	島根県教育センター	島根県教育センター指導主事の所内研修会 「学習指導要領の主旨を踏まえた授業改善支援の在り方」	令和4年1月14日
12	齊藤 一弥 (保育教育学科教授)	大田市校長会	大市内小中学校教員を対象として開催する「授業づくり講座」教材研究会の講師 「学習指導要領の主旨を踏まえた算数・数学の授業づくり(複式学級の授業研究の具体)」	令和4年1月17日
13	齊藤 一弥 (保育教育学科教授)	津和野町立津和野小学校	授業づくり・学校経営研修会講師(津和野町小中学校研修を兼ねる) 「令和の日本型学校教育が期待するこれからの授業づくり・学校づくりの方向性」	令和4年1月24日
14	齊藤 一弥 (保育教育学科教授)	大田市教育委員会・大田市校長会	大市内教職員を対象として開催する「授業づくり研修会」講師 「次年度の学力向上への取り組みの方向性～学びのインフラの構築～」 「授業づくりのプロセスの統一」	令和4年2月15日
15	齊藤 一弥 (保育教育学科教授)	島根県教育委員会	島根県教育委員会・教育事務所・教育センター指導主事の研修会 「島根型学校教育に期待される授業づくりの方向」	令和4年2月15日
16	齊藤 一弥 (保育教育学科教授)	島根県教育センター	島根県教育センター指導主事の所内研修会 「学習指導要領の主旨を踏まえた授業改善支援～学習指導案の作成と授業研究での指導の具体～」	令和4年2月28日

No.	教員名	依頼先	内容(テーマ等)	日付
17	園山 繁樹 (保育教育学科教授)	島根県教育委員会	令和3年度特別支援学校授業力向上事業による浜田養護学校公開授業の講義及び助言指導	令和3年5月25日
18	園山 繁樹 (保育教育学科教授)	島根県立出雲養護学校	出雲養護学校、県内特別支援学校の教職員を対象として開催する研修会の助言・指導 「場面緘黙(選択性緘黙)の理解と支援」	令和3年8月5日
19	園山 繁樹 (保育教育学科教授)	島根県立松江養護学校	事例生徒の指導支援についての相談及び職業コース教員への全体指導	令和3年9月21日
20	園山 繁樹 (保育教育学科教授)	島根県東部発達障害者支援センターウィッシュ	早期支援体制づくり研修会講師 「将来像を見据えた上で幼児期にできる支援はどういったものか」	令和3年10月8日
21	高橋 泰道 (保育教育学科教授)	出雲市立四絡小学校	出雲市立四絡小学校生活科授業研修会指導助言	令和3年6月18日
22	高橋 泰道 (保育教育学科教授)	島根県教育研究会メディア教育部	島根県メディア教育研究会夏季研修会	令和3年7月27日
23	高橋 泰道 (保育教育学科教授)	安来市教育研究会生活科部	安来市教育研究会小学校生活科夏季研修会	令和3年8月6日
24	高橋 泰道 (保育教育学科教授)	島根県教育センター	「令和3年度小学校理科教育講座」講師(講義、研究授業指導助言) 「子どもの主体的な問題解決を実現し、資質・能力を育成する理科の授業づくり」	令和3年9月9日
25	高橋 泰道 (保育教育学科教授)	島根県(教育指導課)	幼児教育推進シンポジウム コメンテーター	令和3年10月12日
26	高橋 泰道 (保育教育学科教授)	学校法人大多和学園 開星中学校・高等学校	公開教育研究会(総合的な探究の時間)における指導助言(中学2年、高校2・3年)	令和3年10月19日
27	高橋 泰道 (保育教育学科教授)	益田市教育委員会	令和3年度第1回保幼小連絡協議会研修会講演講師 「今年度のスタートカリキュラムを振り返って」	令和3年10月20日
28	高橋 泰道 (保育教育学科教授)	出雲市立四絡小学校	令和3年度出雲市教育研究大会中部Bブロック大会 生活科事前研修会指導助言	令和3年10月21日
29	高橋 泰道 (保育教育学科教授)	出雲市教育研究会	令和3年度出雲市教育研究大会中部Bブロック大会 生活科 指導助言	令和3年11月2日
30	高橋 泰道 (保育教育学科教授)	安来市教育研究会メディア教育部	令和3年度 安来市ICT活用教育研究指定校事業 授業研究会 安来市立母里小学校指導助言	令和3年12月2日
31	高橋 泰道 (保育教育学科教授)	安来市教育研究会メディア教育部	令和3年度 安来市ICT活用教育研究指定校事業 授業研究会 安来市立赤屋小学校指導助言	令和3年12月3日
32	高橋 泰道 (保育教育学科教授)	安来市教育研究会メディア教育部	令和3年度 安来市ICT活用教育研究指定校事業 授業研究会 安来市立伯太中学校指導助言	令和4年1月20日
33	高橋 泰道 (保育教育学科教授)	益田市教育委員会	令和3年度第2回保幼小連絡協議会研修会講演講師「これからの幼小接続において大切にしたいこと」	令和4年2月18日
34	内山 仁志 (保育教育学科准教授)	出雲市教育委員会	「特別支援教育講座I」、「デコーディング研修I、II」における研修講師	令和3年5月14日/6月11日/9月29日
35	内山 仁志 (保育教育学科准教授)	株式会社ニチイ学館 松江支店	令和3年度島根県子育て支援員研修(基本研修)講師 「01子ども・子育て家庭の現状、02子ども家庭福祉」の概念と子ども・子育て支援の概要、03子どもの発達をとらえる視点、04保育を通して子どもは育つ、05対人援助の価値と倫理、06子ども虐待(児童虐待)と社会的養護、07子どもの障害の基本的な理解、08総合演習(特別な支援を必要とする家庭(本人・家族)の考察と検討)」	令和3年8月2,3,6,10日
36	内山 仁志 (保育教育学科准教授)	益田市教育委員会	令和3年度「文字を読む力を育むための取組」研修会「音読困難児の2年次へ向けた評価と支援～指導法と環境調整～」	令和3年10月14日
37	梶間 奈保 (保育教育学科准教授)	松江市幼稚園教育研究会	松江市幼稚園教育研究会「音楽表現を楽しむ心を育てる」部会講師(研修会での講話及び演習) 「音・音楽を感じて、感性豊かな保育者になろう」	令和3年11月10日

No.	教員名	依頼先	内容(テーマ等)	日付
38	小山 優子 (保育教育学科准教授)	社会福祉法人 島根県社会福祉協議会	令和3年度保育士等キャリアアップ研修【幼児教育】講師 「幼児教育の意義」「幼児教育の環境」「発達に応じた保育内容」「指導計画、記録及び評価」	令和3年6月30日/7月1日
39	小山 優子 (保育教育学科准教授)	松江市保育研究会	松江市保育所(園)・認定こども園の保育士等を対象として開催するキャリアアップ研修【幼児教育】講師 「幼児教育と発達に応じた保育」「指導計画と評価」「幼児期の学びと小学校との接続」	令和4年1月17日
40	小山 優子 (保育教育学科准教授)	松江市子育て支援センター	令和3年度「子育て支援者スキルアップ講座」講師 「子育て支援者としての心構えとその役割」	令和3年9月21日
41	小山 優子 (保育教育学科准教授)	社会福祉法人 島根県社会福祉協議会	令和3年度保育士等キャリアアップ研修【幼児教育】講師 「幼児教育の意義」「幼児教育の環境」「発達に応じた保育内容」「指導計画、記録及び評価」	令和3年12月16,17日
42	西村 健一 (保育教育学科准教授)	益田市教育委員会	令和3年度第1回益田市保幼小連絡協議会研修会での講義・演習 「KIDSスケールの理解と活用」	令和3年6月10日
43	西村 健一 (保育教育学科准教授)	島根県特別支援学校教育研究会	令和3年度島根県特別支援学校教育研究会第1回実践交流部会の講演会講師並びに研究評議会での指導助言 「学ばせておもしろい! 生きて働く力を育てる授業作り」	令和3年7月1日
44	西村 健一 (保育教育学科准教授)	島根県教育委員会	令和3年度特別支援学校授業力向上事業による松江養護学校公開授業の講義及び助言指導	令和3年8月24日
45	西村 健一 (保育教育学科准教授)	島根県立盲学校	島根県立盲学校の教職員を対象として開催する生活支援についての講演講師 「主体的 対話的な生活指導」	令和3年9月27日
46	西村 健一 (保育教育学科准教授)	益田市教育委員会	令和3年度 益田市特別支援教育研修会	令和3年10月21日/12月16日
47	西村 健一 (保育教育学科准教授)	島根県教育委員会	令和3年度特別支援学校授業力向上事業 松江養護学校公開授業の講義及び指導助言	令和3年11月18日
48	福井 一尊 (保育教育学科准教授)	島根県教育センター浜田教育センター	令和3年度小学校図画工作科教育講座 講師 「～造形的な見方・考え方を働かせる図工の授業を考えよう～【造形遊び編】～」	令和3年9月22日
49	藤原 映久 (保育教育学科准教授)	島根県(青少年家庭課)	令和3年度島根県児童相談所・市町村職員等専門研修会講師 「子ども家庭相談援助制度及び実施体制」	令和3年8月30日
50	藤原 映久 (保育教育学科准教授)	児童養護施設 みのり園	児童養護施設に勤務する職員に対する「性教育講座」の研修 講師 「子ども(2～12歳)の性問題行動の見極めと評価」	令和3年9月17日
51	藤原 映久 (保育教育学科准教授)	株式会社ニチイ学館 松江支店	令和3年度島根県子育て支援員研修(社会的養護コース)講師 「社会的養護の理解」「子ども等の権利擁護・職業倫理」「社会的養護を必要とする子どもの理解」	令和3年10月9日
52	藤原 映久 (保育教育学科准教授)	島根県(青少年家庭課)	令和3年度児童福祉司任用前講習会・任用後研修(後期日程) 講師 「子ども家庭支援のためのケースマネジメント」	令和3年12月24日
53	前林 英貴 (保育教育学科准教授)	松江市(子育て政策課)	令和3年度松江市子育て支援員研修講師(対象:公立幼稚園預かり保育指導員) 「小児保健I」「子どもの発達」「保育の原理」	令和3年5月26日/6月29日
54	前林 英貴 (保育教育学科准教授)	松江市(子育て部)	子育て中の保護者、子育て支援者を対象とした子育て学習会講師 「知っておきたい小児救急の知識とスキル」	令和3年8月2日
55	前林 英貴 (保育教育学科准教授)	株式会社ニチイ学館 松江支店	令和3年度島根県子育て支援員研修[共通科目]講師	令和3年8月16,19,20,21,26,28日
56	前林 英貴 (保育教育学科准教授)	社会福祉法人 島根県社会福祉協議会	令和3年度保育士等キャリアアップ研修【保健衛生・安全対策】講師 「保健計画の作成と活用」「事故防止および健康管理」「保育の場における事故防止および対応のためのガイドライン」「保育所における感染症対策ガイドライン」「保育の場における血液を介した感染予防」	令和3年10月5,6,26,27日

No.	教員名	依頼先	内容(テーマ等)	日付
57	前林 英貴 (保育教育学科准教授)	社会福祉法人 島根県社会福祉協議会	令和3年度保育士就職支援セミナー講師 「保育現場の安全対策」「配慮が必要な子どもへの対応」	令和3年11月11日
58	矢島 毅昌 (保育教育学科准教授)	社会福祉法人 島根県社会福祉協議会	令和3年度保育士等キャリアアップ研修【幼児教育】(浜田会場)講師「幼児教育の意義」「幼児教育の環境」「発達に応じた保育内容」「指導計画、記録及び評価」	令和3年7月13,14日
59	矢島 毅昌 (保育教育学科准教授)	社会福祉法人 島根県社会福祉協議会	令和3年度保育士等キャリアアップ研修【保育実践】「保育における環境構成」(出雲会場、浜田会場)	令和3年8月25日/9月1日
60	矢島 毅昌 (保育教育学科准教授)	株式会社ニチイ学館 松江支店	令和3年度島根県子育て支援員研修(地域型保育)講師	令和3年9月3,9,13日
61	山田 洋平 (保育教育学科准教授)	国立三瓶青少年交流の家	「三瓶版モデル型体験活動開発事業～特色あるプログラム&実践研究事業～」における子供たちの「自己肯定感・他者理解」に関する調査・研究への助言・指導等を行う講師	令和3年7月～令和4年3月
62	山田 洋平 (保育教育学科准教授)	島根県(青少年家庭課)	児童相談所、市町村を対象とした研修会講師 「子どもの成長・発達と生育環境」	令和3年8月31日
63	牧瀬 翔麻 (保育教育学科助教)	株式会社ニチイ学館 松江支店	令和3年度島根県子育て支援員研修(基本研修、共通科目、一時預かり事業、地域型・一時預かり事業実習代替、ファミリーサポート事業)講師	令和3年8月5,9,23,27,31日/ 9月4,7,10,14,17,21,24日
64	牧瀬 翔麻 (保育教育学科助教)	株式会社ニチイ学館 松江支店	令和3年度島根県子育て支援員研修(フォローアップ研修及び現任研修)講師	令和4年3月5日
65	工藤 泰子 (地域文化化学科教授)	松江市立中央図書館	定期講座「小泉八雲に学び・親しむ」講師「松江国際文化観光都市建設法」と小泉八雲	令和3年6月19日
66	松浦 雄二 (地域文化化学科教授)	松江市立中央図書館	定期講座「小泉八雲に学び・親しむ」講師「職人」ヘルンの技と創作	令和4年3月26日
67	木内 公一郎 (地域文化化学科准教授)	島根県高等学校図書館研究会	県内の高等学校・特別支援学校の図書館担当者を対象とする講演会講師 「探究的な学習から学術研究へ～高大連携を視野に入れて」	令和3年8月3日
68	古賀 洋一 (地域文化化学科准教授)	学校法人大多和学園 開星中学校・高等学校	公開教育研究会(総合的な探究の時間)における指導助言(中学2年、高校2・3年)	令和3年10月19日
69	中野 洋平 (地域文化化学科准教授)	島根地域まちづくり協議会	市民(島根地域住民)を対象として開催する「地名調査から考える島根町のすがた」の講演会講師 「島根町における伝承地名に関する調査研究の結果」(仮称)	令和3年6月26日
70	山村 桃子 (地域文化化学科准教授)	山陰中央新報文化センター 出雲教室	特別講座「源氏物語を読む」講師(非常勤)	令和4年2月21日3月7日
71	梶谷 朱美 (保育学科教授)	島根県(保健体育課)	島根県学校体育研究連合会ダンス研究部会講師・アドバイザー(常任理事会3回/年、理事会2～3回/年、研究授業3回/年、実技研修会1回/年)(演題)	令和3年5月28日～令和4年3月31日
72	梶谷 朱美 (保育学科教授)	島根県(保健体育課)	第56回島根県学校ダンス指導者研修会(松江市鹿島総合体育館)実技講師	令和3年7月30日
73	梶谷 朱美 (保育学科教授)	出雲市幼稚園教育研究会	出雲市内公立幼稚園会員対象の講演会 「遊びの本質と保育者の役割～語り合おう、学び合おう、取り入れよう～」	令和3年8月19日
74	梶谷 朱美 (保育学科教授)	島根県教育センター	第2回新規採用幼稚園教諭研修保育技術(運動遊び)講師 「子どもの心身の発達と運動遊び～たのしく・たくさん・たよりに運動遊びを考えよう～」	令和3年8月20日
75	梶谷 朱美 (保育学科教授)	社会福祉法人たんぼぼ 認定こども園 加茂こども園	雲南市内の保育教諭を対象とした「幼児期運動プログラムに関する研修」講義の講師	令和3年9月9日
76	梶谷 朱美 (保育学科教授)	雲南市立認定こども園大東こども園	雲南市内幼稚園・保育所・こども園合同研修Cブロック研修会 職員を対象とする研究会の講師「主体性を育むための援助と環境の構成を探る」	令和3年9月17日
77	梶谷 朱美 (保育学科教授)	島根県(保健体育課) メディア専門家派遣事業	雲南市立寺領幼稚園保護者、教職員を対象として開催する健康教室の講師 「遊び・食事・睡眠で子どもいきいき!活力全開!」	令和3年9月24日

No.	教員名	依頼先	内容(テーマ等)	日付
78	梶谷 朱美 (保育学科教授)	松江市教育研究会小学校体育 部会	第16回松江市表現運動発表会講師 (松江市内の小学校から参加する小学生と教員を対象に表 現運動について講評・指導)	令和3年11月10日
79	梶谷 朱美 (保育学科教授)	島根県教育委員会(保健体育 課)メディア専門家派遣事業	出雲市立荒木幼稚園保護者、教職員を対象として開催する 健康教室の講師 「遊び・食事・睡眠で子どもいきいき!活力全開!」	令和3年11月11日
80	梶谷 朱美 (保育学科教授)	島根県教育委員会(保健体育 課)メディア専門家派遣事業	出雲市立川跡幼稚園保護者、教職員を対象として開催する 健康教室の講師 「遊び・食事・睡眠で子どもいきいき!活力全開!」	令和3年11月12日
81	梶谷 朱美 (保育学科教授)	雲南市立認定こども園木次こ ども園	木次こども園PTA子育て後援会講師 「たのしく、たくさん、たよりに運動遊び!〜親子ふれあい遊 びを楽しもう〜」	令和3年11月15日
82	梶谷 朱美 (保育学科教授)	島根県教育委員会(保健体育 課)メディア専門家派遣事業	出雲市立菟丸幼稚園保護者、教職員を対象として開催する 健康教室の講師 「遊び・食事・睡眠で子どもいきいき!活力全開!」	令和3年11月18日
83	梶谷 朱美 (保育学科教授)	島根県(保健体育課)	島根県学校ダンス授業研究会(益田市立安田小学校)講師	令和3年12月8日
84	梶谷 朱美 (保育学科教授)	雲南市立認定こども園木次こ ども園	木次こども園研究の取り組みへの指導講師	令和4年1月14日
85	梶谷 朱美 (保育学科教授)	島根県(保健体育課)	島根県学校体育研究連合会ダンス研究部会第3回理事会ア ドバイザー(書面開催)	令和4年2月3日
86	ダスティン・キッド (総合文化学科准教授)	大社国学館	大社国学館 講師(「国際的視点から見た神道」令和3年7 月1日)	令和3年4月17日～令和4年3月 22日
87	ダスティン・キッド (総合文化学科准教授)	島根国際交流委員会	出雲神話フォーラムでのパネルディスカッションにおけるパ ネラー	令和4年3月12日

No.	教員名	連携先	内容等	日付(期間)
9	今井 靖(高大連携担当学長補佐)	島根県立松江東高等学校	松江商工会主催の「地域で輝くキラ星共創プロジェクト (東高生の課外活動応援プロジェクト)企画プレゼン 会」参観	令和3年8月11日
10	中野 洋平(地域文化学科講師)	国立大学法人島根大学	令和3年度島根大学総合博物館アシカル講座「島根半島 の民族文化」講師	令和3年8月21日
11	藤原 映久(保育教育学科准教授) 矢島 毅昌(保育教育学科准教授) 今井 靖(高大連携担当学長補佐)	島根県立松江東高等学校	学園祭(東雲祭)文化の部において、1年生の「総合的な 探究の時間」各クラス代表チーム発表、3年生の「EAST 地域探究」選択者の発表を参観。	令和3年8月27日
12	山村 桃子(地域文化学科准教授) 小山 優子(保育教育学科准教授)	島根県立平田高等学校	2年生全員が3キャンパスに分かれて大学訪問。(松江C: 37名) 松江C:模擬講義「日本文学」「保育学」、施設見 学(図書委員4名)、大学生5名(うち平田高校卒業生3 名)との交流	令和3年9月16日
13	増原 善之(地域文化学科准教授)	島根県立出雲高等学校	課題研究指導指導員 出雲高校2年生の課題研究 活動に対する個別指導(7/1～3/31・年3回)/中間発表 (9/16)/成果発表(1/27)	令和3年9月16日 令和4年1月27日
14	梶間 奈保(保育教育学科准教授)	松江市立乃木小学校	2年生143名・引率教員延べ10名(2班/クラス×5クラス)「まち たんけん」 学内(図書館・おはなしレストランライブ 楽-ほか) を学生9名・教員・司書が案内。	令和3年9月21,22,24 日
15	岸本 強(保育教育学科教授) 高橋 泰道(保育教育学科教授) 前林 英貴(保育教育学科准教授) 岩田 英作(地域文化学科教授) 古賀 洋一(地域文化学科准教授) 山村 仁朗(総合文化学科准教授):ゼミ 公開	学校法人大多和学園 開星中学校・高等学校	高校2年文系課題探究Aにおける生徒の研究室訪問お よび指導、短大部ゼミ中間発表公開	令和3年9月30日
16	岩田 英作(地域文化学科教授) 矢島 毅昌(保育教育学科准教授)	島根県立松江南高等学校	第2学年普通科アカデミック研修	令和3年10月7日
17	山根 繁樹(総合文化学科教授) 木内 公一郎(地域文化学科准教授) キッド ダスティン(総合文化学科准教授) 菊野 雄一郎(保育学科講師)	島根県立横田高等学校	2年生進学コースの「総合的な探求の時間」における地 域課題研究グループワークの指導・助言	令和3年10月13日
18	杉 岳志(地域文化学科准教授) 小林 美沙子(保育学科講師)	島根県立大田高等学校	2年生全員が3キャンパスに分かれて大学訪問。(松江C: 35名) 松江C:模擬講義「歴史学」「保育学」、大学生4名 (大田高校卒業生)との交流、学科説明、施設見学	令和3年10月14日
19	岩田 英作(地域文化学科教授) 工藤 泰子(地域文化学科教授) 塩谷 もも(地域文化学科准教授) 藤原 映久(保育教育学科准教授) 西村 健一(保育教育学科准教授)	島根県立松江東高等学校	1年生総合的な探究の時間「学問の魅力探究」における ①パネルトーク(松江C教員4名)、 ②教員(松江C 5名、出雲C 2名)・学生(松江C 11名、出 雲C 2名、浜田C 3名)との交流会	令和3年10月20日
20	古賀 洋一(地域文化学科准教授) 中野 洋平(地域文化学科准教授)	学校法人大多和学園 開星中学校・高等学校	高校「課題研究II文理合同発表会」における指導助言	令和3年10月29日
21	内山仁志(保育教育学科准教授)	松江市立乃木小学校	音読支援(P5参照)	令和3年10月～1月
22	ラング クリス(地域文化学科准教授) キッド ダスティン(総合文化学科准教授)	学校法人水谷学園 出雲北陵高等学校	第27回出雲北陵高等学校英語レシテーションコンテスト 審査員長、審査員	令和3年11月3日

2 教育機関との連携(高大連携・中・小・幼・保)

No.	教員名	連携先	内容等	日付(期間)
1	梶間 奈保(保育教育学科准教授) (おはなしレストランライブラリー司書)	松江市立忌部幼稚園	園外保育活動の支援(おはなし訪問、保育教育学科学生 (4年1名)との自由遊びの支援など)	令和3年6月4日
2	梶間 奈保(保育教育学科准教授)	乃木小学校	校内音楽会の練習サポーター	令和3年7月～9月
3	梶谷朱美、宮下 裕一(保育学科教授) 小林 美沙子(保育学科講師)	島根県立松江農林高等学 校	「こっそり畑プロジェクト」における交流活動 ①松江農林高等学校教諭による植物栽培の講義及び実 技指導②さつまいも栽培を通じた交流(定植・収穫)	令和3年6月17日/7月 19日/11月4日
4	工藤 泰子ゼミ(地域文化学科教授) 木内 公一郎ゼミ(地域文化学科准教授) 竹田 茉耶ゼミ(地域文化学科講師) 小南 理恵ゼミ(地域文化学科助教)	島根県立平田高等学校	3年総合的な探究の時間で代表生徒の将来についての発 表に対し、ゼミ生が指導助言。(教員は補足) ※オンライン	令和3年7月2日
5	梶谷 朱美(保育学科教授)	学校法人大多和学園 開星中学校・高等学校	令和3年度第1回公開研究授業(高校1年生を対象とした 保健)における指導助言	令和3年7月6日
6	学生図書委員会、図書館司書、 おはなしレストランライブラリー司書	島根県立松江商業高等学 校	図書館を介した交流事業(学生図書委員会企画) 署名しりとりゲーム、好きな本の紹介、図書館案内、おは なしレストランライブラリー案内	令和3年7月14日/ 12月21日
7	古賀 洋一(地域文化学科准教授)	学校法人大多和学園 開星中学校・高等学校	高校2年探究型授業校内テーマ発表会における講評	令和3年7月15日
8	増原 善之(地域文化学科准教授)	島根県立出雲高等学校	2年生課題研究指導	令和2年10月15日/ 令和3年1月28日

No.	教員名	連携先	内容等	日付(期間)
23	梶谷朱美(保育学科教授) 藤原映久(保育教育学科准教授) 西村健一(保育教育学科准教授) 中野洋平(地域文化化学科准教授) 小南理恵(地域文化化学科助教) 山根繁樹(総合文化化学科教授) キッド ダスティン(総合文化化学科准教授) 加藤暢恵(総合文化化学科准教授)	島根県教育委員会	しまね大交流会「学問ガイド」参加 世の中にはどのような学問があるのか。自分の興味関心はどの学問と結びつくのか。大学進学を考えている高校1、2年生を対象に県立大学で学べる学問を紹介。(オンライン) 保育学、子ども家庭福祉学、特別支援教育学、民俗学、図書館情報学、文学、異文化理解、情報学(文系向け)	令和3年11月7日
24	小林 美沙子(保育学科講師)	島根県立出雲高等学校	PDGzセミナー講師(1年生)【前期】	令和3年11月11日/12月9日
25	マコー あき(地域文化化学科教授) 木内 公一郎(地域文化化学科准教授)	島根県立三刀屋高等学校	2年生キャリアデザイン・プログラムでのミニ講義「地域文化化学科における英語の学び」「まちライブラリーの構築～大森町における実践」、施設見学、学科説明	令和3年11月17日
26	マコー あき(地域文化化学科教授)	島根県立三刀屋高等学校	第2回学校評議員会での代表生徒(2年5名)のスピーチ、意見交換	令和3年12月7日
27	岩田 英作(地域文化化学科教授)	島根県立松江東高等学校	MATSUE探究発表会への参加と講評	令和3年12月9日
28	キッド ダスティン(総合文化化学科准教授)	松江市立講武幼稚園	幼稚園行事(クリスマス会)のサンタクロース役	令和3年12月17日
29	(おはなしレストランライブラリー司書)	松江市立皆美が丘女子高等学校	2年生85名が4つの講座から選択受講するなかの1講座「読み聞かせ講座」について保育教育学科2・3年生3名が講師をする。	令和3年12月23日
30	キッド ダスティン(総合文化化学科准教授)	社会福祉法人神門福祉会 神門第II保育園	保育園行事(クリスマス会)のサンタクロース役	令和3年12月23日
31	キッド ダスティン(総合文化化学科准教授)	認定こども園 玉湯さくら保育園	保育園行事(クリスマス会)のサンタクロース役	令和3年12月24日
32	梶谷 朱美(保育学科教授)	雲南市立認定こども園 大東こども園	島根県国公立幼稚園・こども園教育研究大会 会場園 指導講師 研究テーマに向けての指導	令和3年12月～令和4年3月(3回予定)
33	岩田 英作(地域文化化学科教授)	島根県立平田高等学校	「平田高校 地域協働フォーラム 2022・春」(1年生による地域課題についての個人探究発表(代表者)、2年生による地域協働学習成果発表会(全員))参加	令和4年2月8日
34	(おはなしレストランライブラリー司書)	島根県立松江工業高等学校	2年生(6クラス)への読み聞かせ講師	令和4年3月9,10日
35	山根 繁樹(総合文化化学科教授)	島根県立出雲高等学校	PDGzセミナー講師(1年生)【後期】	令和4年3月10日
36	高橋 泰道(保育教育学科教授) 古賀 洋一(地域文化化学科准教授)	学校法人大和学園 開星中学校・高等学校	高校1・2年生、中学生参加の探究型授業校内発表会における指導助言	令和4年3月10日
37	高須 佳奈(浜田C 基礎教養部准教授)	島根県立出雲商業高等学校	1年生142名が2班に分かれ、松江Cと出雲Cで施設見学・学科説明。 自己実現・キャリア教育講座(2C同時開催)	令和4年3月17日

3 その他の地域連携(貢献)活動

No.	教員名	相手方	内容等	日付(期間)
1	梶間 奈保(保育教育学科准教授) おはなしレストランライブラリー司書	NPO法人KEYS	絵本を用いた地域の子どもたち交流事業の助言、絵本貸し出し支援	令和3年11月
2	梶間 奈保(保育教育学科准教授)	ピリオネア大学	雲南市加茂交流センター子育てサロンのコンサートの企画内容の助言及び楽曲作品の演奏	令和4年1月※コロナ感染拡大予防のため、延期

No.	教員名	相手方	内容等	日付(期間)
3	藤原 映久(保育教育学科准教授)	島根県中央児童相談所 児童養護施設安来学園	安心・安全な児童福祉施設環境の構築に向けた連携 ・児童養護施設安来学園及び島根県中央児童相談所との協働の下、児童養護施設職員向け養育支援プログラムの開発と実践を行う。	平成27年4月～必要な期間
4	藤原 映久(保育教育学科准教授)	"島根県中央児童相談所 松江地区里親会"	・里親支援における連携 松江地区里親会及び島根県中央児童相談所との協働の下、子育て支援の勉強会と里親支援学生企画交流会を開催し、里親支援を展開する。	平成29年4月～必要な期間
5	藤原 映久(保育教育学科准教授)	"島根県浜田児童相談所 児童養護施設望郷寮"	安心・安全な児童福祉施設環境の構築に向けた連携・児童養護施設望郷寮園及び島根県浜田児童相談所との協働の下、児童養護施設職員向けの継続的な研修を実施する。	平成31年4月～必要な期間
6	岩田 英作(地域文化化学科教授)	松江市	「令和2年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創生事業」の効果・検証	令和3年3月～令和3年4月
7	岩田 英作(地域文化化学科教授)	隠岐の島町	絵本の図書館イベント監修	令和4年1月10,11日/2月27,28日
8	杉 岳志(地域文化化学科准教授)	島根県立古代出雲歴史博物館	保管史料の目録作成	令和2年10月～
9	梶谷 朱美(保育学科教授)	ミライキッズさんいん実行委員会・山陰中央テレビジョン放送株式会社・株式会社メディアスコープ・株式会社こころプラス	ミライキッズさんいん子ども体力測定in島根県立大学松江キャンパス	令和3年12月19日
10	キッド ダスティン(総合文化化学科准教授)	松江市	松江城に関する解説書の英訳	令和3年3月～令和3年8月
11	キッド ダスティン(総合文化化学科准教授)	奥出雲町農業遺産推進協議会	世界農業遺産認定申請書、保全計画書の翻訳業務、現地調査時の通訳	令和3年4月～令和4年3月
12	キッド ダスティン(総合文化化学科准教授)	株式会社 田部	島根の歴史・文化・食等に関する英語コラムの作成と佃田部のWebサイト等での発信、地域英語教育へのサポート及びこれらに付随する業務	令和3年4月～令和5年3月
13	キッド ダスティン(総合文化化学科准教授)	山陰ケーブルビジョン株式会社	正月特別番組「激辛!!地方創生委員会NL」出演	令和3年12月15日
14	キッド ダスティン(総合文化化学科准教授)	World Utility株式会社	企業紹介動画の英語ナレーション	2月7日
15	内田 絢子(おはなしレストランライブラリー司書)	隠岐の島町	絵本の図書館イベント 管理運営	令和4年1月10,11日2月23日～28日

4 審議会委員等(審査員・アドバイザー含む)

No.	教員名	委嘱(依頼)先	役職名	期間
1	岸本 強(保育教育学科教授)	島根県	島根県スポーツ推進審議会会長	令和元年6月～令和3年6月
2	岸本 強(保育教育学科教授)	島根県	文部科学省及び島根県が実施する表彰に推薦する候補者の選考委員	令和3年5月31日
3	岸本 強(保育教育学科教授)	島根県(環境生活部)	島根県が実施する表彰(スポーツ奨励賞)に推薦する候補者の選考委員	令和4年3月
4	岸本 強(保育教育学科教授)	第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会島根県準備委員会	第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会の愛称・ロゴ選定	令和4年1月26日～8日間程度
5	園山 繁樹(保育教育学科教授)	松江市	松江市専門巡回相談員	令和3年6月～令和4年3月

No.	教員名	委嘱(依頼)先	役職名	期間
6	高橋 泰道 (保育学科教授)	益田市	益田市教育連携協議会委員	令和2年6月～令和4年3月
7	高橋 泰道 (保育学科教授)	まつえ湖南学園	まつえ湖南学園地域推進協議会委員	令和3年4月～令和4年3月
8	高橋 泰道 (保育学科教授)	安来市教育研究会メディア教育部	安来市ICT活用教育推進指定校事業スーパーバイザー	令和3年6月～令和4年2月
9	小山 優子 (保育教育学科准教授)	大田市	大田市子ども・子育て支援推進会議委員	平成25年11月～令和4年1月
10	小山 優子 (保育教育学科准教授)	雲南市	雲南市立保育所保育事業委託事業者選考委員会	令和2年1月～令和4年4月
11	小山 優子 (保育教育学科准教授)	島根県	島根県子ども・子育て支援推進会議委員	令和2年4月～令和4年3月
12	小山 優子 (保育教育学科准教授)	松江市	松江市社会福祉審議会委員	令和2年4月～令和4年3月
13	小山 優子 (保育教育学科准教授)	松江市	松江市公の施設指定管理者選定審議会委員	令和2年6月～令和4年5月
14	小山 優子 (保育教育学科准教授)	松江市	松江市保育所等施設整備審査委員	令和2年10月～令和4年9月
15	西村 健一 (保育教育学科准教授)	島根県	島根県教育支援委員会委員	令和2年4月～令和4年3月
16	西村 健一 (保育教育学科准教授)	松江市	検討委員会及び発達相談についての助言指導	令和3年4月～令和4年3月
17	西村 健一 (保育教育学科准教授)	島根県立出雲養護学校	いずよう(出雲養護学校)魅力化協議会委員	令和3年4月～令和4年3月
18	西村 健一 (保育教育学科准教授)	島根県立松江緑が丘養護学校	学校評議員	令和3年4月～令和4年3月
19	西村 健一 (保育教育学科准教授)	島根県障害者スポーツ協会	障がい者スポーツ活動支援助成金審査委員会	令和3年4月～令和5年2月
20	西村 健一 (保育教育学科准教授)	島根県立松江ろう学校	令和3年度第2回学校評議員会での助言	令和3年12月9日
21	福井 一尊 (保育教育学科准教授)	島根県	島根県障がい者文化芸術活動推進連絡協議会会長	平成元年4月～現在に至る
22	福井 一尊 (保育教育学科准教授)	島根県	島根県保育所(園)・幼稚園造形教育研究会顧問	平成22年10月～現在に至る
23	福井 一尊 (保育教育学科准教授)	島根県	島根県障がい者アート作品展WEB展2021審査会審査員	平成23年10月～現在に至る
24	福井 一尊 (保育教育学科准教授)	島根県児童養護施設協議会	第41回児童文化奨励絵画展 予備審査の審査員	令和3年8月24日(平成28年8月～現在に至る)
25	福井 一尊 (保育教育学科准教授)	松江市	松江市保育研究会造形表現部会顧問	平成29年4月～現在に至る
26	福井 一尊 (保育教育学科准教授)	島根県	島根県景観審議会委員	平成30年4月～令和6年1月
27	福井 一尊 (保育教育学科准教授)	益田市	益田市子ども・子育て会議委員	令和2年4月～令和4年3月
28	福井 一尊 (保育教育学科准教授)	島根県障がい者文化芸術活動支援センター	障がい者の芸術文化活動支援に関する検討を行う協議会の非常勤委員	令和3年6月～令和5年3月
29	福井 一尊 (保育教育学科准教授)	島根県障がい者文化芸術活動支援センター アートベースしまねいろ	島根県障がい者アート作品展 実行委員会 委員	令和3年7月～令和3年12月

No.	教員名	委嘱(依頼)先	役職名	期間
30	藤原 映久 (保育教育学科准教授)	社会福祉法人 つわぶき	評議員選任・解任委員	平成29年1月～令和5年3月
31	藤原 映久 (保育教育学科准教授)	社会福祉法人 島根県社会福祉協議会	島根県社会福祉協議会評議員	平成29年4月～令和3年6月
32	藤原 映久 (保育教育学科准教授)	児童養護施設 聖煌寮	スーパーバイザー	令和元年4月～現在に至る
33	藤原 映久 (保育教育学科准教授)	松江市	要保護児童対策協議会スーパーバイザー	令和2年4月～令和4年3月
34	藤原 映久 (保育教育学科准教授)	くらすこどもクリニック	心理相談員	令和3年4月～令和4年3月
35	矢島 毅昌 (保育教育学科准教授)	島根県保育士養成校連絡協議会	保育士確保・定着研究ワーキンググループ	令和3年6月～
36	岩田 英作 (地域文化学科教授)	松江市	松江市総合計画・総合戦略推進会議委員	令和2年6月～令和4年5月
37	岩田 英作 (地域文化学科教授)	島根県	島根県子ども読書活動推進会議委員	令和2年6月～令和4年6月
38	岩田 英作 (地域文化学科教授)	出雲市	出雲市立図書館協議会委員	令和3年5月～令和5年5月
39	岩田 英作 (地域文化学科教授)	島根県立松江南高等学校	松江南高校魅力化コンソーシアム委員(7/16令和3年度第1回松江南高校魅力化コンソーシアム)	令和3年6月～令和4年5月
40	岩田 英作 (地域文化学科教授)	松江市	松江市総合計画審議会委員	令和3年6月～令和5年5月
41	岩田 英作 (地域文化学科教授)	島根県立平田高等学校	平田高校 令和3年度第1回運営指導委員会	令和3年7月20日
42	岩田 英作 (地域文化学科教授)	島根県立矢上高等学校	第23回高校生文芸道場中国ブロック文芸コンクール 審査員 詩部門の審査	令和3年9月21日～10月8日
43	工藤 泰子 (地域文化学科教授)	松江市	松江歴史館運営協議会委員	令和2年11月～令和4年11月
44	工藤 泰子 (地域文化学科教授)	島根県立松江商業高等学校	学校評議員	令和2年5月～令和4年3月
45	工藤 泰子 (地域文化学科教授)	島根県立松江商業高等学校	松江商業高等学校魅力化コンソーシアム役員	令和3年5月～令和4年3月
46	工藤 泰子 (地域文化学科教授)	雲南市	雲南市観光振興会議委員	令和3年6月～令和4年3月
47	工藤 泰子 (地域文化学科教授)	松江ツーリズム研究会	松江ツーリズム研究会観光大賞選考委員	令和3年8月
48	田中 芳文 (地域文化学科教授)	島根県立松江南高等学校	学校評議員	令和2年5月～令和4年3月
49	松浦 雄二 (地域文化学科教授)	仁多郡奥出雲町	情報公開審査会委員	平成29年4月～令和6年3月
50	松浦 雄二 (地域文化学科教授)	仁多郡奥出雲町	個人情報保護審議会委員	平成29年4月～令和6年3月
51	松浦 雄二 (地域文化学科教授)	仁多郡奥出雲町	個人情報保護審査会委員	平成29年4月～令和6年3月
52	マユー あき (地域文化学科教授)	公益財団法人島根県育英会	公益財団法人島根県育英会理事	令和元年6月～令和3年6月
53	マユー あき (地域文化学科教授)	島根県	島根県個人情報保護審査会委員	令和2年4月～令和6年4月

No.	教員名	委嘱(依頼)先	役職名	期間
55	マユー あき (地域文化学科教授)	島根県立三刀屋高等学校	学校評議員	令和2年5月～令和4年3月
56	マユー あき (地域文化学科教授)	島根県	島根県情報公開審査会委員	令和2年10月～令和4年10月
57	木内 公一郎 (地域文化学科准教授)	島根県	島根県立図書館協議会審議委員	令和2年5月～令和5年6月
58	木内 公一郎 (地域文化学科准教授)	松江市	松江市立図書館協議会委員	令和2年11月～令和4年10月
59	塩谷 もも (地域文化学科准教授)	松江市	松江市行財政改革推進委員	令和2年6月～令和4年5月
60	塩谷 もも (地域文化学科准教授)	公益財団法人しまね国際センター	「世界とつながる島根づくり助成金」運営委員	令和3年5月～令和5年3月
61	中野 洋平 (地域文化学科准教授)	まつえ市民大学運営協議会	まつえ市民大学運営協議会委員	令和2年10月～令和3年6月
62	中野 洋平 (地域文化学科准教授)	島根県教育委員会	島根県古代文化センター客員研究員	令和3年6月1日～令和5年3月31日の4日間程度
63	中野 洋平 (地域文化学科准教授)	島根県	島根県景観審議会委員	令和4年2月～令和6年1月
64	藤居 由香 (地域文化学科准教授)	松江市	松江市歴史まちづくり推進協議会委員	令和2年4月～令和5年3月
65	藤居 由香 (地域文化学科准教授)	島根県	島根県消費生活審議会委員	令和2年7月～令和4年7月
66	藤居 由香 (地域文化学科准教授)	島根県	島根県建設工事紛争審査会委員	令和3年1月～令和5年1月
67	藤居 由香 (地域文化学科准教授)	島根県	島根県しまね景観賞審査委員会委員	令和3年4月～令和5年3月
68	藤居 由香 (地域文化学科准教授)	島根県	島根県住宅政策懇話会委員	令和3年6月～令和4年3月
69	藤居 由香 (地域文化学科准教授)	一般社団法人 地方自治研究機構	土地利用規制と都市計画税の課税のあり方に関する調査研究会委員(勤務先:松江市役所)	令和3年6月～令和4年3月
70	藤居 由香 (地域文化学科准教授)	松江市	松江市都市計画審議会会長	令和3年9月～令和5年8月
71	山村 桃子 (地域文化学科准教授)	松江市	松江市個人情報保護審議会委員	令和元年9月～令和5年8月
72	山村 桃子 (地域文化学科准教授)	島根県	島根県教育庁古代文化センター企画運営委員会委員	令和2年8月～令和4年7月
73	梶谷 朱美 (保育学科教授)	島根県(保健体育課)	島根県学校体育研究連合会ダンス研究部会講師・アドバイザー(常任理事会、理事会2～3回/年、研究授業3回/年、実技研修会1回/年)	令和3年5月28日～令和4年3月31日
74	梶谷 朱美 (保育学科教授)	雲南市	身体教育医学研究所うなんん運営委員会委員	令和2年4月～令和4年3月
75	梶谷 朱美 (保育学科教授)	島根県立松江農林高等学校	松江農林高等学校魅力化コンソーシアム役員	令和2年4月～令和4年3月
76	梶谷 朱美 (保育学科教授)	島根県	結集!しまねの子育て協働プロジェクト推進委員会委員長	令和2年5月～令和4年5月
77	梶谷 朱美 (保育学科教授)	雲南市教育委員会	雲南市いじめ問題対策連絡協議会委員長	令和3年4月～令和5年3月

No.	教員名	委嘱(依頼)先	役職名	期間
78	梶谷 朱美 (保育学科教授)	島根県	島根県スポーツ推進審議会副会長	令和3年10月～令和5年9月
79	梶谷 朱美 (保育学科教授)	雲南市	雲南市加茂B&G海洋センタープール運営副委員長	平成30年7月～
80	宮下 裕一 (保育学科教授)	社会福祉法人 島根県社会福祉協議会	しまね保育士確保・定着推進会議委員	令和2年11月～令和4年3月
81	山根 繁樹 (総合文化学科教授)	島根県立松江農林高等学校	令和3年度「松江農林高校魅力化コンソーシアム」第1回役員会(代理出席)	令和3年6月18日
82	山根 繁樹 (総合文化学科教授)	社会福祉法人嵩見保育所	社会福祉法人嵩見保育所 評議員	令和3年6月～令和5年6月
83	ダスキン・キッド (総合文化学科准教授)	島根県松江警察署	警察署協議会委員	令和3年6月～令和5年5月



島根県立大学
島根県立大学短期大学部
松江キャンパス

しまね地域共生センター

Shimane Center for Enrichment through Community, The University of Shimane Junior College

〒690-0044

島根県松江市浜乃木7-24-2

TEL 0852-28-8322

FAX 0852-20-0267

<http://matsuec.u-shimane.ac.jp>

R4年3月版